京城日報
十九日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）
本紙定價 ▲一部金二錢五厘 ▲一ヶ月金六十五錢 [illegible]
廣告料金 ▲五號活字一行 [illegible]
發行兼編輯人 奥川直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 [illegible]

時間表
[illegible]
十一月一日現行

○アンガール爭奪戰
獨軍アミアン街道の制扼權を得んが爲め

ノアイヨン、アミアン街道北方の重要地點なるアンガールにて激戰行はれたり獨軍はアミアン街道の制扼權を得る爲め英佛軍の切斷を豫期し三度之れを目標として攻撃を行へり斯くて同村は彼我の間に屡々奪還され獨軍は又も同村に突入せんと試みしが終夜に亘る村内の家屋爭奪戰後獨軍は遂に驅逐されたり而も十二日に至り再び獨軍は村の包圍を開始したり（巴里電報）

○メトラン戰闘中
敵部分的攻撃猛烈

十六日夕刻ヘーグ元帥公報に曰く、敵はメトランに足場を得目下同地にて戰闘繼續中なり本戰線の他の部分に對する敵の攻撃は撃退されたり敵は十六日朝アラスの南方ボアイエスに對せる我が陣地に猛烈なる部分的攻撃を行ひ戰闘は今尚繼續す（倫敦電報）

○獨軍リコフ占領

リコフは十七日正午獨逸軍に占領されたり（哈爾賓特電）

○獨軍兩地點占領

十七日夕獨逸公報＝獨軍はポエルカペル及びランゲマルクを占領せり（倫敦電報）

○英軍新戰線へ退却

イープル東方の前方陣地に在る英軍は秩序整然として新戰線に退却せり（倫敦電報）

○英新徴兵案第三讀會通過

英國新徴兵案は百三票對二百三十票の多數にて英國下院第三讀會を通過せり（倫敦電報）

○墺國新外相任命

ブリアン男は墺國外相に任命されたり（ベルン電報）

○露國舊皇帝裁判
既に第一審に附せらる

莫斯科十二日發電＝新聞紙の報に依れば最高豫審官は正式裁判の準備を爲し舊皇帝は第一審に附せられたり舊皇帝の罪惡に就ては之れを一千九百五年十月革命迄と憲法發布以後との二期に分ち十月革命以前の皇帝時代の事は不問に附すべしと（哈爾賓電報）

○獨逸リガ領有準備

リガ方面の獨逸官憲は同地方を純然たる獨逸領土たらしむべく著々準備を急ぎ居れるがクールランド及びリガに於ては普魯西の學校規則及び教科規定の實施を見多數の獨逸學校は著々開校しつゝありと（哈爾賓特電）

○避難邦人浦鹽著

ブラゴエチエンスクより黒河へ避難せる日本人三百餘名は續々浦鹽に到著し浦鹽居留民は右に對する收容所を設け居れるが其他の地方よりも引揚者多し（浦鹽電報）

○徐樹錚漢口會議計畫

徐樹錚氏等は出征軍の士氣を振興せしめ同時に出征派の結束を固め今後の對南方略を講ずべく漢口會議開催の計畫あり但し其の裏面の目的は總統選擧參議員職權問題等に關する條件主張の貫徹に在りと（北京特電）

○米國傭船船使途

米國政府が日本より近く傭船し又は買取るべき船舶は多分濠洲より米國及び聯合國への小麥の輸送に使用さるべし（桑港電報）

○堂島解合困難

堂島は當中解合の筈なるも總解合は困難ならんと（大阪特電）

○立花師團長通過

立花第十九師團長は師團長會議列席の爲め東上中なりしが十九日朝釜山上陸午前十時半の急行にて北行せり（釜山特電）

◎墺國外相辭職
講和提議問題

墺國外相チエルニン伯は今回辭表を提出し墺帝の聽許する所となりたりとの報あるが右に付き外交通は曰く未だ其眞僞を確知する能はざるも四圍の情勢より推せば伯の辭職は有り得べき事なり

▲其原因は　勿論佛墺間の講和提議にあるべきが此問題の起りたるは即ち伯の演説にして伯は此問題の責任者なり今該問題の概略を述ぶれば最近獨墺が西部戰線の攻撃を開始すると共に伯は墺國に對しては佛國よりアルサス、ローレンス問題に付き佛國に有利なる解決を爲すを條件として講和を提議し來りたるも墺國は斷然之を拒絶したりと揚言したるが此事は端なくも佛國議會に於て問題を惹起したるを以てクレマンソー氏は遂に本問題の眞相を説明せり事の起りは昨年三月にして當時墺帝カールは佛國にあるブルボン家のシクステー親王を介して（一）墺國はアルサスローレン問題に付き佛國に有利なる解決を爲す可（二）墺國は白耳義問題に付ても佛國の主張を支持す可との條件を以て講和を提議し來りたる佛國は聯合國との約を守り之を拒絶したりと説明し

▲且該親王の書信をも公表したり之に對し且該親王はクレマンソー氏の説明は虚僞なり墺國は白耳義問題に付ては何等條件を提出せず二州問題は單に正義の解決を爲すべきを提議したるのみと辯明し互ひに水掛論を重ねたるが兎に角此水掛論により墺國の佛國に對する講和提議の事實暴露され即ち墺國が獨逸を裏切らんとせし事實を暴露するに至れるが要するに斯の如き波瀾を惹起したる原因は即ちチエルニン伯の揚言なり左れば此責任上伯が辭職を提出したりとて寧ろ當然の成行と云ふべし果して然らば墺帝としては此際伯よりも更に親獨の色彩を有するものを選びて其後任と爲し以て獨逸との關係を改善するに努力すべく左れば此問題の爲に獨墺の乖離を來すべしとは思はれず（東京）

◎定例長官會議

十九日午前九時三十分より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督、山縣政務總監以下各部局長官參集諸般の政務に就協議する處ありたり

◎西洋立憲の由來と我國立憲の精神（三）
法學博士 上杉愼吉氏講演

譬へば如何にも平易であるが、憲法制定の御精神も亦之に外ならぬ斯の如くにして我が憲法制定の御精神は皇祖皇宗の遺訓を明澄に顯はすに在り此の故に若しも我が憲法七十六條を單純に

▲西洋舶來の　輸入品である如く取扱つたならば、大なる間違を生ずる。我々が洋服を著たとて心まで西洋人にならねば成らぬとそんな馬鹿氣た事を言ふ者は世の中にあるまいと思ふ。けれども憲法に就ては、往々制定の御精神を忘れて、唯憲法の條文の形を捕へて彼是論議し、之を解釋運用せんと欲する者のある事は諸君御承知の事であらうと思ふ。建國以來歷代天皇の御稜威に依つて、大日本國を樹てられ、國民は此の國土に於て人類の道德を成就しつゝ進んで參つた譯であるが、併しながら唯天皇御一人だけでは國家の存立の本義を成就完成する事は出來やう筈が無い。必ず國民の力に俟たせられねばならぬ。是亦我が大日本の世界に對し誇るべき一つの特長である

▲我が日本程　國民の力が一つとなり、出來るだけの程度まで利用して、之を天皇の御用に立て、益々御稜威を發揮し、天皇の御稜威に依つて人民の幸福を充分に増進する操運然たる組織の出來上つて居る國は……私は日本人であるが故に、唯誇つて申すのでも何んでもない……世界の如何なる歷史を見ても決して類例が無いと云ふ事は茲に喋々するの必要はないのであつて、多少支那若くは西洋の歷史を繙く人の直ちに氣附く點である。譬へば支那の歷史を見ると、昔は堯舜の如き聖明の君主があつたが、斯の如き理想的人物で果して孔子の言ふた樣な堯舜の世の中が實際にあつたかどうか、學者も之を疑ふ可しとして居る。夫れ以來支那歷代の歷史は爭亂絶ゆることなく一日として人民が各其の堵に安じて、充分力を發揮し

▲天下泰平の　幸福の生活の途。我が本性を充たした時代は、暫くと雖も之を見る事が出來ない。歐羅巴各國の歷史亦之と類を同じうする。見來れば我が日本の如き麗はしき歷史を有するものは他に之を求め難く、眞に萬邦に冠絶せる國體と言ふべきである。即ち人民の力を極度に利用し、之れに依つて彌々益々御稜威を發揮すると云ふのが、是れ亦憲法制定の御精神であらうと拜察するのである。が憲法制定に當り先帝が皇祖皇宗の御神靈にお告げになり同時に憲法制定の事を臣民一般に仰せ出された憲法發布の勅語には以上申述べた趣意をお述べになつて居る。諸君は常に之を拜讀されて御承知の事であらうけれど、茲に記憶を喚起する爲に甚だ多いことであるが二三の文句を拜讀し、多少詮釋を加へたいと思ふのである。

◎位記傳達式

十九日午前九時總督府總督室に於て位記傳達式を舉行し長谷川總督より左記諸官に對し頭書の通り夫々位記の傳達ありたり

正三位	中樞院副議長伯爵	李完用
從四位	同　子爵	權重顯
同	同　子爵	李夏榮
同	技師	坂出鳴海
正五位	同	新田留次郎
從五位	檢事	境長三郎
同	通譯官	藤波義貫
正六位	技師	勝山重巽
同	事務官	鹽谷智隆
同	技師	鈴木坂鐵
同	判事	原正鼎
同	編修官	立柄教俊
同	道事務官	今村武志
從六位	技師	三井榮長
同	遞信事務官補	江越米次郎
同	同	津田盛男
同	事務官	立石種一
同	京城工業專門學校教授	夏田信彌
從六位	發察官兼技師	原親雄
同	技師	稅田谷五郎
同	京城高等普通學校教諭	呂圭亨
同	醫院醫官	水津信治
同	京城醫學專門學校教授醫學博士	久保武
同	京城高等普通學校教諭	鷹松龍種
同	事務官	郡山智
同	京城工業專門學校教授	宇野三郎
正七位	警視	小牟田十太郎
同	同	神崎稼一
同	土地調査局監査官	權賢燮
同	道事務官	今村邦典
同	事務官	杉本邦良
從七位	技師	大島滿一
同	中央試驗所技師	上田嘉助
同	道技師	藤岡卓兒
同	參事官	萩原彦三

◎上半貿易
約七十五萬圓の入超
八百五十萬七千餘圓

四月上半に於ける朝鮮輸移出入貿易は輸移出品價三百八十七萬八千六百六十五圓輸移入品價四百六十二萬八千五百九十二圓合計八百五十萬七千二百五十七圓にして七十四萬九千九百二十七圓の輸移入超過を見しが之を前年同期に比すれば輸移出八十一萬八千二百二十三圓の増加にして輸移入に於て六萬七千十圓を減じたるも合計に於て七十五萬六百十三圓の増加なりとす而して更に之を一月以降の累計に見るに輸移出一千二百四十萬七千三圓輸移入九百十五萬七千五百九十五圓合計二千百五十六萬四千五百九十八圓の激増を告げたり左に重要輸移出品價額を掲ぐ（圓單位）

▲輸移出重要品價額 米一、四〇七、一三三▲豆類三四一、七六〇▲魚類六四、九四九▲棉花五七八、一七九▲穀八、四二七▲金鑛及沃鑛一九、二三六▲鐵鑛二六、八三七▲重石一六、〇九〇▲黒鉛三三、六四二▲合金鑛粗銅一二五、三一九▲銅一二二、〇四〇▲煙草六二、五三五▲生牛一四、一四〇▲肥料六四、八四七

▲輸移入重要品價格 米三五二、〇六〇▲粟二四八、四〇一▲小麥粉六四、五四八▲食鹽八〇、三八三▲砂糖一〇四〇三九▲清酒一八、五〇一▲麥酒三四六〇▲石油六八、八二▲綿絲一七、二九十▲生金巾二〇、四〇一四▲晒金巾五八七四五八▲天竺布一五、〇〇七▲日本木綿一〇一、一七八▲支那麻布五六、六八三▲毛織物一三、四三七▲絹織物七、五四九▲紙八五〇九八▲熟鐵三四六、四八五▲鐵管及び管二三三一▲機械及び附屬品五五、五二〇▲諸機械一八六、九九六▲煙草三八、五二六▲生溶皮一二、五二五▲石炭二〇二、一八一▲材木一二二、四五五▲セメント八一、五〇九▲マッチ一八、七七一

◎上半金出入額

四月上半に於ける金貨の輸移出入額は輸移出十三萬二千二十六圓、輸移入一萬一千二百八十五圓にして金地金、銀貨及び銀地金の輸移出入皆無なりき

◎東拓植林近況

東洋拓殖會社に於ては咸南、黃海外一道に於て大規模の植林を行ふべき計畫あり本年も既に三月中旬頃より各係員を現場へ出張せしめ植林を開始せしめたるは既の通りなるが中には餘寒強き爲め之が著手を延期し居たる地方ありしも最近頓に暖氣加はりしより各地共植栽に支障無きに至り大部分の進捗を見たりと

◎實業教育調査會

十七日午後一時半より總督府第二會議室に於て實業教育調査會を開會し豐永委員以下十六名出席夫々調査事項に就き審議し午後四時半散會したり

◎公會堂委員會

京城商業會議所にては十八日午後府公會堂及び會議所事務所新營に關する委員會を開き府内に於ける法人の主なるものへの寄附勸誘終了其他の經過を報告せり

◎桑原咸北道長官

咸鏡北道長官桑原八司氏は道長官會議出席の爲め十八日入京巴城館に投宿せり

◎若森事務官退官

遞信局事務官若森美樹氏は十五日高等官四等に陞叙十六日依願免官と成れり

◎廣州普通學校改稱

京畿道廣州郡廣州公立普通學校は此程南漢山公立普通學校と改稱せり

大田

▲忠南共進會　本秋大田に於いて忠淸南道物產品評會を開催せらるべしとの議あるも未だ豫算編成完了せず故に道當局より各郡守に經費の割當てを内示して其の意見を徴したるに過ぎざるも目下道長官會議中なるを以て道長官歸任の上郡守會議を開きたる上決定すべしと西脇道事務官は語れり

▲大田川改修　工費四萬數千圓にて水害復舊及び護岸工事中なる大田川は天候恢復したるを以て多數の職工人夫を督して工事取急中なれば其の竣工期は意外に早かるべしと

▲主任教師　元大田公州恩賜產業傳習所主任教師たりし竹切藤作氏は同所閉鎖に付公州郡廳勤務となり十六日赴任せり

人事消息

▲淺井佐一郎氏（漢城銀行平壤支店支配人）十九日午前入京山本旅館へ
▲山田主計▲宮川機關大尉▲桜尾機關大尉　十九日午前入京浦尾へ
▲松崎少佐▲牧浦機關大尉　同上山本旅館へ
▲三宅中尉▲岸田中尉　同上天眞樓へ
▲田中勇氏（海軍中佐）十九日朝鮮ホテルへ
▲三浦末喜氏（錦織士）十八日元山より歸京
▲後藤瑞巌師（臨濟宗妙心寺派布教監督）十九日朝南大門發大邱釜山の接心會を終りて京都、東京、鎌倉地方に巡囘の筈なるが歸山は來月末の豫定なりと
▲久松裔氏（平壤憲兵分隊長）十九日朝入京朝鮮ホテルへ

◆東京より（一）
金谷生

◆東京の頃日は正しく花の都の名に背かず候、上野、飛鳥山は申すに及ばず滿都櫻花の好季節に御座候

◆然しわれ〳〵朝鮮及び滿洲人にとつて最も不快なるは雨の多き事にこれあり候、小生も僅か一週間ばかりの滯京中その大半を雨に降られこれでは矢張り大陸に限る哩と嘆聲を洩らし候次第、蛇目傘の春雨情調も過ぎたるは猶ほ及ばざる次第に候

◆雨と申せば石塚東拓總裁にも丸の内にて雨の日に面談致し候處東京では朝鮮のやうに風邪が早く癒らぬこれも濕氣勝ちの爲めならむとの仰せにこれあり候、而して一年の半分は朝鮮及び滿洲に暮す等なりしが却て忙がしくて困ると語られ候それに目下の事務所は帝劇裏に當り清水秘書役なぞの室は樂屋と差し向ひなるも一興にて御座候

◆帝劇と申せば目下中幕『戻橋』にて幸四郎の渡邊の綱と梅幸の鬼女評判にこれあり候、喇嘛僧一行は特に大倉男の招待により帝劇特等席の客となり澁澤男も同席觀覽せられ候

◆櫻田本郷町の朝鮮鐵道營業所にては主任坂本氏が頗る熱心に滿鮮の紹介に努め居られ候やうにて同所にては鮮滿一般の情況は素より各地の旅館、宿泊料等に至るまで調査され居り候間近來は一般旅行者のみならず商人の取引上にも同所を利用する者これあるやに聞き及び候

◆されば鮮滿の人々も大に同所を利用されて然るべく候、それに近來は東京人の滿鮮に志す者著しく増加し殊に學生の如きは滿鮮旅行をせざれば肩身の狹き趨勢なれりとの事に御座候早々（四月十三日）

本項及び次項は前項讀者の寄稿に係る前便より前後せり

◆陸將軍は什麼して死んだ

○陸幹卿（榮廷）將軍が武鳴で亡くなつたと云ふ香港電報は吾々南方贔負の者、いや南方北方とは謂はず隣邦形勢の推移に眼を注いで居る者に取つて尠なからぬ驚愕の種であつた。

○陸將軍は昨紙にもあつた通り綠林の出身で深く部下の心を得て軍になつてからは省民の信望も厚く、何しろ南方革命派の中で一番武力と財力とを有てゐる人であつたから事實上南方派が第一の頼みとするのも將軍であり北方派が目の上の瘤とするのも將軍であつた、其位勢力は有つてゐたがしかし將軍は其出身が示す通り素々純粹の革命派では無い、隨つて孫中山（逸仙）氏一派の理想派とは必らずしもぴつたり合つた仲では無く寧ろ幾分意見の齟齬もあつたのではないかと考へられる節がある。

○吾々の觀察によると此點が北方派從來のつけ目で北方派の策略は孫派と陸派とを疎隔せしめ陸派を妥協して孫派を孤立無援の地に陷れるといふのであつたらしい、北方派が最近頻りに南方派との部分的妥協と云ふ事を揚言してゐたのも其反影と見られない事はないやうに思はれる、此意味から陸將軍の行動は從來吾々が多大の興味を以て觀察してゐた所であつた。

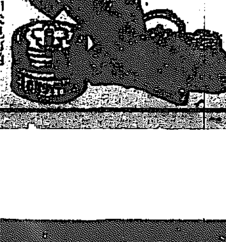
○それが突然亡くなつたと云ふ、どうして亡くなつたのであらう、病死かそれとも暗殺か殊に亡くなつたのは十三日だと云ふが最近將軍の部下は湖南の衡陽まで進んで今一歩で衡山に突出し三面から長沙を挾撃すると云ふ策を立て、意氣甚だ揚つてゐた所から見ると將軍が最近病氣であつたやうには思はれない。

○假に病死でないとして暗殺とすると一體誰の毒手に斃つたものであらう。謂ふまでもなく北派とは思へるが又同時に孫派の手だと見られない事もない、陸派を手懷けて孫派を孤立させると云ふ計畫がうまくゆかぬ爲に北派があせり出して陸を手に懸けたが、北派の計畫が成功しさうなので孫派自ら手を下して陸を殪したか、眞に近い推測をする爲にはもう少し委しい事情が分つてほしいが兎に角陸將軍の逝去は今の所南方派に取つては少からぬ打撃でそれだけ北方派には一息つかせたに相違ない、後繼者は當然譚浩明であらうと思ふがそれも波瀾無しにゆくかどうか兎に角飛んだ事になつたものである。（布施生）

星印ソース
今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる
本品は其品質と實行とに於てソース界の明星なり
全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

▲朝鮮名產▼
金剛飴
金剛山
京城本町 電話二十七 四七五 龜屋

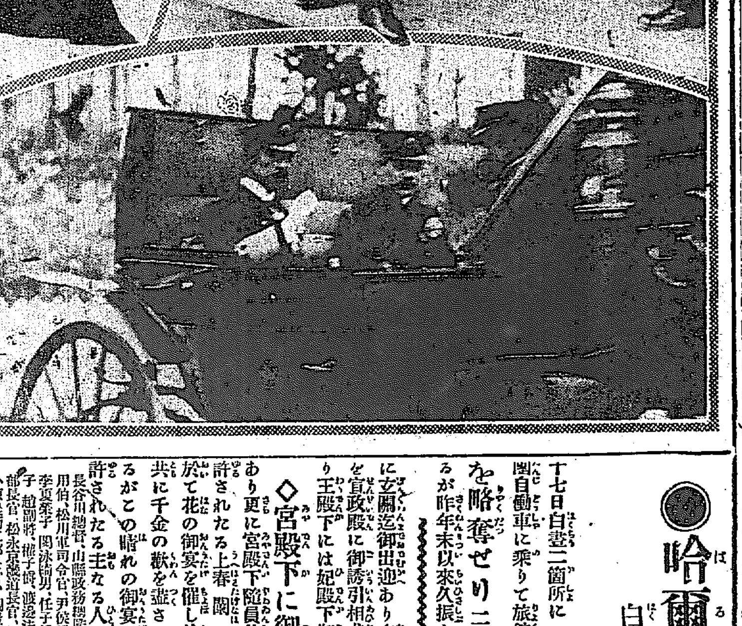
東洋一 新形流行の魁
西川式ストロング製は堅牢優美
價均一 耐久保證す

御旅行用 靴と鞄

定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角
内田靴鞄製造問屋
電話 一五五一 振替 一八七一七

高木背水畫伯筆
金剛山探勝繪葉書（一組六枚）定價三十六錢 郵税二錢
萬物相の朝、元山港の朝、九龍淵の秋、赤壁江の朝、温井里の夕の五景を實地に描寫したるものにして其筆致の優なる、印刷の良好なる、蓋し歐米の夫れに比して遜色なき鮮麗なる得難き良品なり。
京城太平通一丁目 京城日報社代理部
電話（局内）十八番 振替京城三〇〇番

●鮮人學生の唱ふ日本海々戰の唱歌

打興じられつ高等普通學校中學校御視察の東伏見宮殿下



寫眞說明
（上）京城中學校に體操御覽の東伏見宮殿下
（下）折花洞京城高等普通學校御成
（中央）同上運動場にて生徒の體操御覽

德壽宮石造殿に一夜を過させ給ひし東伏見宮依仁親王殿下には十九日早朝御起床各幕僚の伺候を受けさせられ京城中學校及び高等普通學校御視察の爲め

◇海軍通常禮裝に御召更へ大勳位章副章其他を御佩用[illegible]海軍少將、南御附武官陪乘、山中司令官、百武參謀長、岩[illegible]機關長、三村、桑島、菅沼各大佐其他各幕僚及び關屋學務局長、上田視學官等を從へ弓削學務課長へさせられ午前九時三十分御馬車にて大漢門御出門太平通より西大門町一丁目を左折御順路を經て京城中學校へ成らせらる、此日花曇りの空靜かに中學校

◇校庭の櫻花開き淡香淸淨を掠て殿下の御來臨を祝ぐ門內右側には各學年生徒の一部及び敎諭整列殿下を迎へ玄關前には紫崎校長以下職員威儀を正して御來著を俟つ斯て九時四十分憲兵三騎を先驅に御馬車は校門を入り各員の敬禮を受けさせられ玄關にて御降車柴崎校長の御誘導にて堂に御少憩此間校長以下各奏任敎諭に謁を給ひ更らに

◇校長の御案內にて附屬小學校讀方、算術、讀方の單級敎授振より第一學年三組の博物、第四學年一組の化學酸素實驗附屬敎員養成所にては高等小學第一學年國語讀本解釋及び敎授法第五年一組の漢文、第三年二組の代數、第二年三組の英語會話を御覽せられたる後雨天體操場にて三四、五年合同の勇壯なる柔道亂捕擊劍稽古及び二三番の勝負を御覽せられつゝ

◇場の南面入口に佇ませ給ひ前庭にて五年二組の行ふ兵式敎練散開より發火射擊銃劍突擊の壯快なる樣を熱心に御覽あり校長の說明を聞こし召されいと御滿足の體に拜せり斯くて十時十五分御退校打水淸々しき御道筋を鍾路通りより左折花洞京城高等普通學校へ向はせられたり高等普通學校にては岡校長以下職員生徒の出迎へを受けさせ校長の御案內にて附屬普通學校一、二年生の國語敎室用語及び問答を始め同三、四年生の

◇日本海々戰唱歌本科二、三年生の算術及び國語、附屬養成所內地人生徒の朝鮮語會話及び四年生の鮮かなる聯合體操師範科生の狀袋張り等を御巡覽別室にて生徒成績品及び標本を御覽あり朝鮮人子弟敎育設備の完備せるを稱へられつゝ午前十一時十分御退出御機嫌麗はしく再び御順路を經て德壽宮石造殿へ御還啓相成りたり

◇倭城臺の夜櫻

十九日から點燈

春色既に京城の近郊近野を彩る今日此頃倭城臺一帶溪谷の櫻は既に七分方咲き揃ひたるを以て十九日夜より同地一帶に電飾を施し一入夜櫻の美を添ふべし

▲滿開の秘苑の櫻

この日御訪問の佳賓に笑みて

―春たけなはなる昌德宮裡―
―李王、同妃殿下に御對面―

中學校、高等普通學校を御巡覽の上十一時御歸館相成りし宮殿下には正十二時再び德壽宮御發門、御馬車の行列を整へて昌德宮御訪問の途に就かせらる、昌德宮は東久邇宮殿下以來賓に久々にて我

◇竹の園生の御方を迎へ奉れるなり、この日空は一帶サッと撫でたるが如く薄靄を以ておほはれ麗かなる蒼穹は仰ぐに由なかりしも花も心ありてか昨日までは僅かに薄紅を潮し居たる苑の櫻今日の御成りを迎へて一齊に咲き揃ひ楊柳の淺綠と共に古色蒼然たる朱殿丹閣を背景として絢の如く宮裡の春一しほ艶に人をして徐に李朝五百年の昔を偲ばしむ

◇宮殿下の御馬車は大漢門より直ちに左折して光化門通りに向ひ更に右折して鍾路通りを驀進したるが沿道は奉迎者堵を爲し電車も運轉を停止して敬意を表したり、軈て先驅の騎馬憲兵敦化門に入るや宮殿守護の朝鮮步兵隊が吹奏する奉迎の喇叭の音春空高く冴ね渡り一種

◇莊嚴の氣宮內に漂ふ、殿下の御著相成りしは午後零時十五分、直に閔御附武官以下幕僚を隨へられ閔長官、國分次官以下李王職高等官一同堵列の間を輕く會釋を賜ひ御機嫌麗はしく仁政殿玄關に入り給へりこの時李王李堈公兩殿下は先著の長谷川總督山縣政務總監、松川軍司令官と共に玄關迄御出迎あり直ちに宮殿下を宣政殿に御誘引相成りたり之より王殿下には妃殿下御同列改めて

◇宮殿下に御對面あり更に宮殿下隨員其他に謁見を許されたる上春閣なる仁政殿に於て花の御宴を催し給ひ宮殿下と共に千金の歡を盡さるゝ御豫定なるがこの晴れの御宴に特に列席を許されたる主なる人々左の如し

長谷川總督、山縣政務總監、李載覺侯、李完用伯、松川軍司令官、尹侯爵、朴侯爵、閔長官李夏榮子、閔泳綺男、任子爵、李副將、李載崐子、趙副將、權子爵、渡邊法院長、宇佐美內務部長官、松永京畿道長官、持地遞信局長官、小原農商工部長官、關屋學務局長、李容植子、國分次官、山中海軍少將、[illegible]少將、百武少將、荻田總務局長、李根湘男、[illegible]男爵、臨時憲兵大佐、岩選海軍大佐、三村大佐、桑島大佐、雨宮軍醫大監、永谷機關大佐、南佐大佐、生島主計大監、菅沼大佐、齋藤副官、加賀中佐、田中中佐、大野少佐、藤波通譯官、松永海軍大尉、李王職各課長（席順）

●哈爾賓のジゴマ團

白晝自動車にて旅館を襲ふ

セミヨノフ軍の服裝を爲す

十七日白晝二箇所にてセミヨノフ軍の服裝を爲せる數名のジゴマ團自働車に乘りて旅館を襲ひピストルにて威嚇し金品を略奪せり二回目の襲擊の際支那軍隊の力にて差押へられたるが昨年末以來久振りにて白晝襲擊を見たり（哈爾賓特電）

◉箱崎八幡宮參詣

公會堂に於ける盛んなる午餐會

一行は十八日午前十時より醫科大學參觀の後日本三大公園の一なる東公園に遊びたるが白砂の濱に古松森々と生繁り

▲博多灣の背波木蔭に陰顯して風光の絶佳なる境內の幽邃なる眞に大公園の名を辱しめず一行は境內に毅然として起ち遙に玄海を睥睨しつゝある龜山天皇、日蓮上人の銅像を仰ぎ見て再び箱崎に向ふ箱崎八幡宮は

▲白蟻の爲め崩壞せんとしたるを發見し新に改築したるものにて總て蒼然たる古色を施したる爲め舊態を爲し居れり社殿は鬱蒼たる古木に蔽はれ白砂青松の境內數町にして萬帆徂徠する博多灣の碧波磯を洗ひ居るを以て一行は風景の偉大なるを探勝しつゝ

▲逍遙を恣にせり正午電車にて引返し一時より市及び會議所聯合の午餐會場なる公會堂に列席したり井手市長主催者側を代表して挨拶を述べたる後宴に移り主客歡談を盡して一時間の後阿部社長の發聲にて市の

▲萬歲を三唱し散會したるが當日は市參事會員會議所員等多數列席盛況を呈せり、午後二時より西公園に遊びたるが既に葉櫻なりしも非常の賑ひにて山上山下人を以て埋り恰かも湧が如き有樣なりき一行が西公園より化學工業展覽會御覽の爲め

▲公園を出んとするや展覽會場附近の浮見堂より火を失し見る〳〵中に猛火炎々天を焦し數戶に延燒したる騷に市內消防及び三箇中隊出動一時は矢野動物園の虎、熊など逃出したりなど傳へられ群集は戰々恂々花見の巷も混亂其極に達したり是れが爲に一行は自然解散の狀態の儘旅館に引揚たり（福岡にて觀察團幹部發電）

◉猛獸狂燥

駱駝燒く

福岡共進會內餘興場の火事

十八日午後二時共進會の化學工業展覽會附屬建物中浮見堂より發火火の手二十間を飛び日光拔型の餘興場を燒き矢野動物園を燒き民家一戶燒失の上鎭火せるが動物園の獅子、熊、象等狂ひ出し駱駝は全身を燒き駝鳥一羽燒死せり（福岡特電）

◉欺かれた出稼ぎ坑夫、

保護を願ひ出づ

沖繩縣八重山炭坑坑夫として出稼せる山口縣山口町附近の農夫十六名は坑夫募集者の甘言に欺かれ言語不通なる悲境に陷りつゝある由にて郷里の家族等が連署にて保護方を其筋に願出たりと（山口電報）

◉五分鈴

▽四月二十日から廢止

却つてそれは紛らはしいさ

朝鮮鐵道主要驛に於ては列車出發前五分鈴及び一分鈴發車鈴使用の處五分鈴は接近して出發する列車ある際却つて誤解を招く虞あるを以て四月二十日より之を廢止する由尙一分鈴は釜山外二十五驛に於て使用し其の內釜山、大邱、大田、永登浦、龍山、平壤、新義州の各驛にては南大門驛使用の如き電鈴に改むべしと

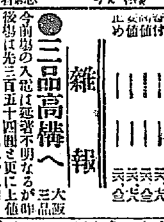
◉福井撚糸燒く　十八日朝福井市南端なる福井撚絲染工場に出火あり一棟燒失す（福井電報）

◉大錦橫綱授與式　大阪大錦橫綱授與式は十八日熊本にて首尾能く擧行せり（熊本電報）

◉松齡會の袴能　京城觀世流松齡會にては來る二十一日午前十時より花月に於て春季大會を催すべくその番組は左の如くなるが當日は豫て同會に於て計畫中なりし同會婦人連の袴能及び仕舞等もある由にて當地に於ては新らしき試みなる由
▲素謠　芦刈、雲雀山、善知鳥、▲袴能　羽衣、小袖曾我、▲舞囃　田村、敦盛、花月
▲仕舞　小鍛冶、杜若、蟬丸、小督　山姥、八島、二人靜、土蜘蛛

◉市民運動會　朝鮮新聞社にては來る廿一日龍山衞戍練兵場に於て市民運動會を開催す可しと

◉龍山十友會成績　龍山十友會の[illegible]會は[illegible]龍山十八銀行支店長井上氏方に開催今月の優等者は[illegible]一郞氏なりし由



灯ともし頃

◉[illegible]局[illegible]課長の島田志良氏は熱心な玄米食行者で、既に四年も米ばかり食べてゐる。氏の家庭は夫人は勿論女中に至るまで玄米を食べて居るがどうかした時に玄米がなく白米を求めて來てもコレハ不味いと云ふので、すぐ玄米にかへるさうな▲課長が訪ふて玄米の功德を聞くと第一脚氣にならぬ[illegible]

讀者文藝（一等には五十錢の書籍劵を呈す）

▲依めゐ

◎瓢簞と扇と短冊（一等）　龍山滿鐵社宅第一合宿　傍島生

次回課題

讀者文藝課題及び募集規定

商況

兵庫期米

東京期米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

三品高構へ

圓七十錢高　米棉又々一段上値を期

砂糖尙品薄

灣糖若干の入荷

品不足の聲絶

見當十五圓五十錢

金市類持合ひ

一般入電待

內地小麥强硬

氣配は二十六圓

正米持合ふ

市況行悶く模樣

眼先大變動

北海色豆市況

片栗粉持合ひ

支那棉低落

下關相場

頹勢挽回

仁川正米

南大門の廻穀

釜山穀物

生魚市場

市場雜觀

仁川期米

十九日前場（伸惱む）

大阪前寄四十五錢昨止より十三錢高

頭重く伸惱みの成行

大阪は本日後場

引後取引所に仲買集會

場又復逆

當中限は今回

精算小口賣

大手筋に

令影響慮

停止中の當中限

方共大活動か開始

成行何如

北濱たより

大株と大新

仁川米豆取引所

連絡船上陸客

天氣

晴一時曇

▲十九日後場　大阪前場六節四十一錢前止め後寄末米にて中二十二圓十五錢先三十二錢の二錢安に寄付二十七錢を押　▲先限一節三十二圓三十二錢二錢三十錢一錢三十錢二十九錢三十錢二十八錢七錢八錢七錢
後場　寄付　二十二圓三十二錢　此〆　二十二圓三十五錢　高値　二十二圓三十七錢　安値　二十二圓二十七錢

大連より

○滿洲特産物の出廻期は今や其の出盛を經過し從つて滿鐵滿洲本線各驛に於ける大豆の堆積は近來漸次減少せりとの事なれども猶廿七八萬噸の滯貨ありとの事也

○是等の滯貨を廢除せりとの事に昨年十月頃より驛構内に野積みとして貨車の配給を待ちて今日に至れるもの尠からず其の結果雨雪の浸透する處となり腐敗に歸したる大豆實に二十萬噸此の價格一千四百萬圓に達せりと

○滿鐵側にては構内野積大豆に對しては其の責任を負はずと規定せるを以て元より其の賠償に應ずる理由なしとし荷主側に在りては斯くの如き莫大の損害を蒙りたるは畢竟滿鐵が野積設備の完全を缺けるものとして一部損害の負擔を爲すべきものなりと論じ目下兩者係爭中なりとの事なり

○滿洲大豆出廻り盛期に在りては到底之れを一々倉庫に積込み更に貨車の配給を得て輸送するが如き事は到底不可能の事にして各驛共に野積を爲す場所さへも無き盛況を告ぐるを以て今後も會社又は其他の者が年一回出廻りの大豆の爲めに大倉庫の建設するが如き事は勿論あり得べからざる事なり

○殊に大豆は倉庫積よりも野積の方自然的風通及び乾燥の爲め結果良好なりとの事なり而し乍ら野積大豆と雖も又地濕を防ぐべき土臺及び雨雪の際の雨敝を必要とし滿鐵社にては夫れ〴〵各驛に對し之等の設備を爲し居れり

○然るに各驛に於ては之等の土臺は之より降雨の際に於て雨敝を施さゞる部分往々あり其の結果野積大豆中に尠からざる腐敗を生ずるに至れり之れ鐵道側にても亦其の損害を分擔すべき責任ありと之れ荷主側の云分なり

○鐵道側にては前述の如く大豆出廻盛期に於ては野積の場所さへも無き程にて到底土臺及び雨敝を爲す事能はず此の期間に於て降雨等ある場合には其の害を被る事は全く不可抗力なり且つ初めより鐵道が其の責に任ぜざる事を承諾して野積と爲したるものなりと

○吾人は兩者が腐敗せる大豆を挾みて論議の正否を爭ふよりも今後適當の方法に由り再び斯くの如き損失を蒙らざる爲め鐵道側と協議の上相當の設備を爲すを賢明とすべし吾人は各驛務者に對しより以上の親切を以て野積大豆の保護法を講ぜられん事を望むものなり多數者の間には可成り荷主に對する同情を缺ぎ有餘る雨敝を特に爲さゞる者或る事情に由りて爲さゞる者等も尠からずとの事なり

巡回裁判制 關東州に於て

關東州外に於ける滿洲各地方に於ける民刑事裁判及び諸登記事務は從來各領事館に於いて管掌し來れるも多くは新任の領事官補及び書記生等が之れを擔當し事務不熟練なる爲めに事件常に遲滯勝ちなる上に領事館にても常務多忙の爲め頗る厄介に感じ居れるを以て其の事務取扱ひに關しては缺陷頗る多く常に在留邦人より不滿の聲を聞く處なるが今回平石法院長は之等の狀況を實際に視察し其の革新の一方法として先づ司法事務に精練なる裁判書記を外務嘱託として各領事館に配置せんとするにあれど根本的改良案として巡回裁判を開始せんとする計畫ありと（大連）

大連の新市街 ◆拂下げ又は貸下げ實行◆

關東都督府にては大連市街地區の愈餘地なきに鑑み小崗子、沙河口間の工場地區と南山麓の土地を整理し新市街設計を爲して貸下げを爲す計劃なりしが愈々本年度より實行する事となり地方費豫算臨時土木費七十餘萬圓中に前記兩地の整理費として約三十萬圓を計上しありとの事なり整理地竣工の上は何れ一般に對して貸下又は拂下げを行ふ筈にて其の方法、市街計劃等は市區計劃委員會に於て決定せらるゝ筈なりと（大連）

米人蒙古に活動す

張家口より庫倫に至る間に鐵道を敷設する權利は支那人經營の大成公司の取得する所となり支那交通部は已に案を立てゝ新に張庫汽車公司を設立せしむる事とせしも其組織未だ緒に就かず一時進行の阻滯せるに乘じ米國人所辨の元和公司は交通部の許可を受けずして着々工事に着手せるより察哈爾都統田中玉は急遽此情形を交通部に報し交通部は此事を以て主權に關する所甚大なりとし直に田都統に電訓し元和公司の自由行動を阻止すべき樣命令し且つ本線路は從來の方針を一變して京綏鐵道の直接辨理に移すべしと傳へらる（大連）

浦鹽は靜穩なり

代議士日非哲夫氏は浦鹽より哈爾賓を經て長春に來り南下せるが其談に曰く

目下浦鹽は日英の陸戰隊にて警備し居れば靜穩なり過激派兵士は莱劍にて隊伍をなし市中を巡邏し居れるが其れは陸戰隊に挑戰する意味にあらず治安を維持すれば引揚げられたしと云ふにあり浦鹽にはセミヨノフ軍と衝突せる如く傳ふるも余等の通過し來れる所何等さることなく靜穩なり此際出兵の是非を論ずるより先づ根本問題を決するが急ならん米兵は未だ上陸し居らず（長春）

九州視察團畫報

大里製糖會社視察

米國と佛國へ ◆滿洲輸出の重要品◆

三月中大連より輸出の亞米利加及び佛蘭西仕向け貨物の主なるものは埠頭事務所の調査に係る三月中大連より亞米利加及び佛蘭西へ向け輸出貨物の主なるもの左の如し

（亞米利加）豆油一萬十九噸、木油六百噸落花生四五百噸（佛蘭西）麥粉五千七百十二噸

以上主なる輸出品は即ち歐戰軍需品に供するものなり（大連）

大暴落原因

奉天に於ける小洋錢は數日前より大暴落を演じ尚下押の步調にて奉天の經濟界は恐慌を來し居れるが其の主なる原因は兌換停止問題に因るは勿論なるも最近東三省銀號、奉天興業銀行にて張督軍新編成の混成旅募兵の爲め新たに發行して地方に流通せしめたる滙兌票及び債券頗る巨額に達し斯かる危險なる不換紙幣の濫發は遂に小洋錢暴落の一因となるに到れり（奉天）

廻穀は順調

平南に於ては昨秋收穫以後農家は一般に米價の漸騰を豫期し賣惜みの傾向ありしが本春三月中旬以來に於て米價其極度に達し市場の如き石三十二圓內外を示すや農家は一種危惧の念を抱き貯米の準備を爲す者ありたるも下旬より若干の低落を見るや大農者は又々將來の奔騰を無想し賣惜みするもの無きにあらざりしも本月に入り概して賣惜み氣配一掃せられ平原安州兩郡の如き米產地に於ても澁滯なく至極圓滑の廻穀あり成績良好の狀態なり（平壤）

工産増加す ◆平壤に於ける各種工業◆

需要の増加と時局の影響に伴ふ原料の昂騰によりて其の產額に於て著しく増加せし平安南道の各種工產品は近時平壤に於ける事業界の勃興に伴ひ是等製品は益々増加の傾向を示し來れり今大正六年中の主要製產品を示せば左の如し

織物	一、一二〇、八〇三	編組物	三三、二七〇
紙類	八四、八〇三	陶磁器	三三、九八〇
金屬品	二九七、四二三	機械類	七、八九五
木器	二五〇、四四四	建築	一〇、一三三
窯業品	二四〇、三〇四	文房具	八、〇〇四
冠物	九九、七八九	服物	八九、三五九
布帛品	四五五、七〇四	装身具	五九、七七三
農具	一五三、二八〇	蒋酒	一、二六八、一八〇
醬油	三〇四、〇五五	味噌	五六、八七〇
麪子	二九八、二七三	麥粉	二三三、〇三七
煙草	四〇七、〇四一	動物油	四〇、五九五
植物油	四〇七、二一四	（以上單位は圓とす）	

鷄卵エッキス 米國禁輸品となる

支那蛋業者は三十年來主として米國に向つて所謂蛋黃白（鷄卵を原料とせるもの）を輸出し來りしが歐洲諸國にては何等之が輸入を制限せざるに反し米國は去年九月十五日を以て突然禁輸を行ひしことは當時已に報道せる所にして米國政府の謂ふ所に依れば化學的檢查の結果蛋黃白內に鉛氣を含み衛生に害ありと云ふにあるも本來其製造法は歐米にて創始せられ支那人は之れを模倣せしものにして歐米に於ける製品と何等の差異なく支那製品に限りて特に鉛質を含むの理なければ此禁令發表さるゝや上海の外商は米國政府に打電し其取消を請求し同時に紐育の各商會は代表者を華盛頓に派し更に取消の交渉を進めしも折柄米國政府の對獨宣戰に遇ひて頓挫し以て今日に至りしかば支那當業者の打擊一方ならず素より現在當業者は支那全國を通じて四十餘家製造工場數は六十餘箇所に過ぎざるも每年の輸出額は關平銀一千萬兩に達するが故に支那製造工業中有力のものたるを失はざりし對米輸出不能となりし結果彼等當業者は少くも三四萬圓多きは十餘萬元の資金を固定して了り而かも歲入の大半を失ひて非常なる苦境に陷りつゝありと云ふ（大連）

◉支那全國一年生產力

米穀	三億五千萬石	麥類	一萬一千萬石
豆類	七千萬石	黍類	一億萬石
製茶	七千萬斤	落花生	二千萬斤
煙草	二十二億萬斤	砂糖	二億萬斤
油類	九億萬斤	麻	十五億萬斤
棉花	十五億萬斤	藥材	八十二億萬斤
羊毛	六千萬斤	水產	二億元
鐵產	三千萬元	鑛類	二十四億萬斤
工產	五億元	生糸	七千萬元
蔬菜	四千五百五十三億斤（果實を含む）		

鹽の密輸入

鹽の密輸入に對しては支那官憲に於ても十分取締を斷行しつゝあり然も尚ほ隱れて輸入を企つるもの尠からざるより營口鹽務局にては楊帶眼に兵士四十餘名を隨へ水雷艇を以て安東縣に派遣し十四日著安せしめしが其は專ら鴨江一帶に亘り鹽密輸取締の爲なりと（安東）

木材界賑ふ

奉天に於ける材木界は愈々需要期に入れるを以て益々活氣を呈し來り今春來より奉天に輸入せる木材は二百三十餘貨車に達せり而して一方需要無限の狀態なるを以て價格また先强にて材木界は空前の盛況を見るならんと（奉天）

新らしき牧畜業

鄭家屯にある日本人有志十數名は同地に於て畜產事業經營を計劃中のところ愈々具體的進歩を見るに至れり最初は小規模の資本金三萬圓として日本人のみの合資組織となし漸次增資する筈にて牧場は鄭家屯附近に設け長春、公主嶺、四平街、開原、鐵嶺、奉天、遼陽等に逐次出張所を置く豫定なり營業科目は緬羊及び牛馬豚の牧畜獸肉販賣牛馬賣買仲介牧草の改善其他附隨せる農產經營等なりと（奉天）

◉哈爾賓と電氣

哈爾賓北滿電氣會社は去る十一日總領事館にて發記を終り十三日買收代金を支拂ひ十四日より引繼を受けて本式の營業に著手することゝなりたり重役左の如し

常務取締役は目下日露二人にて露人側のバルスキー氏は東清鐵道民政部司法部長兼務部長たる人なり又日本側の横山要吾氏は滿鐵奉天公所員にて今度辭任し新に東拓會社に入り同社を代表して常務となれり技師長は足立秋生氏にて此れ亦滿鐵より轉ぜし人なり（大連）

◉北京に在る車の數

自動車	三二一	荷馬車	一二三四
馬車（洋式・支那式）	一四一六　一二五〇	自轉車	三七〇一　三〇一九
人力車	二三八八一	計	三二七三一

◉大連鯛の初漁

石島沖にて漁獲せる初鯛三尾十六日の大連魚市場に現はれたるが百匁二圓七十五錢に取引されたり今後一匹位宛は漸々入荷ある見込なり（大連）

詩に謳はれし 麗しき輕羅 ◆內地の商人が一手販賣◆

（品物を揃へるのは困難である）

若し遠方の人で苧布を買ひたいと思ふものがあれば生產地の地方金融組合か又は郡組合或は組合聯合會に現金の預託をして置いて見本帳を貰つた上に指定をして遣れば何時でも其の仲介の勞を取つて呉れる別に手數料としても微集せぬけれども規定によつて苧布一匹に對して二錢宛の鑑定料を仕拂はねばならぬ其の見本帳は苧布組合か聯合組合會に返信料を添へて申込むと送つて呉れる近來內地の商人にして忠南苧布の一手販賣とか取次販賣とかの方法を以て取扱ひたいと申込むものもある、元來苧布の生產は家庭工業であるから一度に何百匹、何千匹と同一の品物を得る事は困難である現今日本人向きとして最も多く賞美されるのは形付の浴衣地及び夏の紋付、座蒲團表、夏股引用等であつて、洋服地となるべき中巾のものは目下猶研究中でもあり且つ研究の餘地が充分あるものと見られてゐる、近頃著しき現象は朝鮮內地の需要の外

◆歐米各國に輸出せらるゝ◆

ものが漸次增加する相であるから忠南苧布も斯くして段々世界的の織物とならんとしつゝある、而して織方の巧拙又は生地と晒の如何によりて價格も一樣ではないが大正七年の統計を取つて見ると扶餘產で一匹四圓から三圓二三十錢位、舒川產で四圓七十錢から三圓四十錢位、青陽產七圓より三圓二十錢位、保寧產で四圓二三十錢より三圓二三十錢位であるが甚だ上等になると十圓以上のものもあるが、本年は何れも二割乃至三割の騰貴を見るが至當であらう

演藝案内

京城本町 電話一〇五〇 壽館
來る四月廿日土曜午後五時より 筑前琵琶第四回溫習會 旭房會支部 演奏曲目

京城明治町二丁目 電話二六〇 浪花館
四月十七日より開演 京阪落語登喜和會一行

有樂館 活動寫眞常設館 電話（階下）二〇五番

京城壽町 電話五七八番 壽座
新派連鎖喜劇 第一 喜劇廻り車 第二 新喜劇哀緣 第三 所作事京人形 第四 笑劇新夫婦

特別大寫眞 神谷轉 仙石騷動
秋之助とお澄
大活劇 義勇兵
日活特約 大正館

黃金館 電話二三六七・二六六

明治町 大正館 電話八七三
新派悲劇 秋之助とお澄 全四卷

初日 二日目 引續滿員
花見時に夜の御遊樂は浪花館へ！
京阪落語 若手一座 明治町 浪花館

◉抵當流れ 二枚綿毛布 一組特價金四圓二十錢
東京市赤阪區田町七ノ二 東洋商會

縞セル 一反只の二圓卅錢
東京市日本橋區本石町

陸軍拂下 袴下、靴下、手袋、被服、並に諸官衙拂下品 京城府漢江通三 電話長三三六番 佐藤古着店

謹告
今般左記業務開始仕候間永々御愛顧奉希上候
信託業
（一）土地建物並に鑛山の賣買及不動產抵當貸借の紹介
（二）信託金及代理貸付金の取扱
（三）土地建物其他財產の管理
（四）財產の整理及處分の引受
（五）一般測量製圖設計工事監督
右各本位とし顧客より疑惑を蒙らざるを與商會の主義とす事件は最も秘密迅速に處理し顧客に滿足を與ふる樣商會は最も低廉なる實費を申受け誠實に處理可致候何卒一般信託業と玉石混淆同視せらるゝ勿れ
特色 鑛業
銀鉛、亞鉛、銅各鑛石の買入
▲荷受場所は朝鮮內何れの停車場にても御引受可申候多少に不拘御申越被下度候も有料に御便宜相計可申候
京城黃金町二丁目一四八（金葉湯向側）
明星商會 主 濱本壽代一
電話長二四六四番
營業所內御一報次第參上仕候

池田季雄
イケダ小兒病內科醫院
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院一三四番 自宅二〇〇〇番）

タカヂアスターゼ
タカヂアスターゼは高峰博士發見の方式に據り本會社工場に於て製出せるものにして胃腸疾患に對する唯一の特效劑なり
外國に在りては同一の方式に依り有名なるパークデビス社が北米及英國所在の工場に於て製造し歐米各國に之を供給せり
タカヂアスターゼは已に十數ケ年來世界各國の醫學者に依り實驗的に使用せられ其效力を確認せられたるものなり
醫藥としての最大要素は多數醫學者の實驗成績が效用の論理と合致し使用者をして何等の顧念を挿むの要なからしむる者なるに在り
本劑の聲價隆々として世に高きを羨み類出せる類似模造品あれども北品質共效力決して同一視する價値あるものにあらず、醫學者實驗報告集無代郵呈す
東京室町 三共株式會社

眼科專門
京城若草町（新道路中程櫻井町通り角） 電話一五九五
金井眼科醫院
新築落成◉入院隨意

公債株式現物問屋
東京株式取引所仲買人
東京市日本橋區坂本町貳番地
細野傳次郎商店
顧客諸君の御便宜に供し本店は迅速確實を主とし公債株式現物賣買取扱御用命之程希上候
電話浪花 四〇四番 五〇番 四〇九八番 四六〇九三番 三六九八番
振替口座東京一二七番 電信略號（ホ）又ハ（ホ）

專賣特許第三三〇六九號
木材防腐防蟲劑
◉クームヒン
白蟻、濕潤に特効あり
說明書御申込次第送付
製造發賣元 京城旭町一丁目 山田商店
電話 振替 一〇七八番 龍山電話四二九六番

塚原卜傳

第五十席 悟道軒圓玉口演

常陸國茨城郡水戸の城主佐竹左中將義宣と仰せらるゝは年十三歳で家督に立ちました、遠く先祖は八幡太郎義家の舎弟新羅三郎義光の後胤、八十餘萬石を領し、隣國にも武威を輝かし、殊の外御家も繁昌いたして居りました、佐竹彈正左衛門といふ是は母方の伯父に當つて居ります、よく外戚の勢ひを振ふといふ事を申しますが源平の昔も太政入道淸盛が勢ひか振ひ、又鎌倉の頼朝公の時代に北條時政が外戚の威を振つたと申します、彈正左衛門は頗る勢ひがございますから、何事も此の人の胸中にあり梅津内記と云ふ人は誠に温順な方それに何分虚弱殊に老體でございまして、何事にも口出しをなされません、萬事は佐竹彈正左衛門に打任せて居ります、所が塚原土佐守は性來剛直な人で彈正左衛門の勢ひに少しも恐れるといふ事はございません、惡い事といふと、ドシドシ非難をいたし、其れでは宜くない、斯樣なさい、此うなさいと毎度彈正左衛門をやり込める、内心然と不快の念を抱き、塚原土佐守が無ければ諸事我が心のまゝになるが、どうもアノ男が居ては目の上の瘤、萬事に附けて妨げと思ひソコで頻りに土佐守を陷し入れやうと考へて居ります、此節梅津内記は老病再發いたして、ドツと床に就いて居るを幸ひに、彈正左衛門或日顔色を變へて、内記の許へ參りました 彈『偖て御病氣は如何でございます』 内『千萬忝けない、仕合も我等は虚弱であつて捗々しく快氣の見込もございません、就いては其許萬事御一身で、御引受けになり、御苦勞に存ずる、呉々も宜しく政事向取計らひを願ひます』と根が忠義無類の海津内記、病床にありましても、君家の事は少しも忘れる暇はございません、彈正左衛門四邊を見廻し、前へ進んで聲を密め 彈『偖内記殿、今日其許をお尋ね申したるは、容易ならざる御家の椿事出來をいたしまして捨て置く譯に相成らぬ、實は、貴所を驚かした』 承はつた内記は漸やくに床の上へ起直りまして、 内『彈正左衛門の顔をキッと打眺め容易ならん一大事とは、何事が出來いたしましたか』 彈『されば でござる、此一書を御覽下さるやう』と懐中から取出した一通の書面、内記は手に取り上げて見ると豫て見知つて居ります塚原土佐守の手跡、越後の上杉の家來平賀志摩守へ宛てたる書状でございます、其文面に豫てお約束をいたした通り十分準備を整へましたから備せの通り兵を御差向けに相成るやう、此方内通して水戸の城は上杉殿に參らすべしといふ、容易ならざる陰謀の密書でございます、顔の色を替へて梅津内記 内『是は如何して御手に入りしか』 彈『左樣、どうも塚原土佐守の振舞合點往かざる節々がございますから、内々心附け居つた所、上杉の家來平賀志摩守は塚原の縁者、殊に志摩守の娘を土佐守の伜帶刀へ貰ふ約束が整ひ、夫是よりして容易ならざる陰謀を企つたものと見へるといふは、上杉が關八州を切從へんと云ふ企みに付き、先づ當國を横領いたして、常陸の水戸へ兵を差遣つて關八州を併呑なさんず結構、幸ひ此書面が拙者の手に入りたるは天の祐け、實に憎くんでも飽足らざる奴は塚原土佐守、貴殿は如何が思召す』 内『左樣でござる、彼人は平常忠義鐵實の人と心得て居つたが、イヤ案外の企、併し御如才もござるまいが、餘り輕卒の事は出來兼るから、水戸城へ彼れを招いで篤と實否を取調べ、教訓を加へ改心をいたすやう取計らはれたら如何でござらう』と梅津内記は心配をいたしました（終）

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會横
安部醫院 電話四一一九番

四月廿二日 九星
舊三月十二日 己亥
本命 三碧 東 危 友引

▲三碧● 見定めのつかぬ事有り新事見合 坤の方は吉 時運東 ▲四緑● 氣勢よき日 轉居 開業 入學 金談 求職 建築 結婚 訴訟 萬吉 ▲五黄● 親切ごかしの事有り新事手控 普請 林業は凶なし ▲六白● 安からざる事ども多き日 新事手控 萬事は吉 衛生に注意せらるべし ▲七赤● 不調法の事有り新事手控 萬事は吉 萬事時に當てにならぬ事多き日にせらるべし ▲八白● 新事手控 萬事は吉 借の口入等せぬがよし ▲九紫● 上運の日 轉居 旅行 入 婚出 漁探 就職 求 縁談 結婚 訴訟 建築 吉 ▲一白● 優美の日 轉居 開業 營業 吉 女子獨立自營を計るに妙也 待人來る ▲二黒● 促され安き日 新事手控 僞事は吉 新取引に用心せらるべし

日本一
最上清酢
マルカン印

ほまれ味噌

最上醤油
日本醤油株式會社
京城出張所
電話二四五番

外科一般 ...

アザそばかす なまづホクロ入墨イボ
等の爲め困難の人はハガキにて申込あれ學理實驗共に其效力實に驚く可し他に類なき化學應用劑を懇切に通知す 東京市向島小梅町 平澤藥院

◎月やく
月やくさまり不順のため食物胸につかへ時々嘔吐を催し足腰下腹痛み逆上頭痛ひどくして何となく工合惡く心配の方は一度服用ひても キカヌ他の藥に迷はず 私方へ返信料添て申込あれ害なくおりる妙藥を入用にお知らせす。
東京四谷傳馬町停留場前 森田屋

慢性りん病
石炭酸より强き殺菌力を有し尿道誘導の劇烈なる殺菌及び粘膜深層に潜伏せる組織の浸潤及結膜に對し著効を奏す急性慢性殊に内服藥との併用を有効なり他の類似品に及ばざる症特長を有す目的の効力を疑ふ人は見本料郵送呈す 壹圓五十錢 參圓 壹圓
藥劑師 淺田藥局 大阪市南區櫻川四丁目 振替大阪參壹貳四九番

人から嫌われる わきがを
責任有る確實藥で早くなほしなさい
●全治して喜び禮状山の如し
◎音尾博士 先生創見
●化學的療法 無代進呈
●藥學界に名譽ある陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助けせんが爲め數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる「チゼン液」を思議に ヨクキク責任ある藥を創見致しました 是迄無責任な一寸素人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人も彼是と迷はず一日も早く東京●東京府●淀橋町●柏木百六拾番地●東京醫愛藥院宛にハガキで申込めばわきが化學的新療法の本を無代で上ます

呼吸器散 呼吸器丸

本劑の特長
本劑は最新高貴藥を配伍せる祛痰鎭咳の特効藥にして如何に重き患者にても服用せばタンを去りセキを鎭め胸苦きを和らげ夜分安眠の効を奏す。先一週分試よ

かゝる時に偉効あり
■息苦く胸痛む時
■咳出て夜眠られぬ時
■たんに血の混る時
■聲潤れ出でざる時
■のんど腫れ痛む時
■たんせき切れ難き時

價十錢、二十錢、四十五錢
全國到る處の藥店にあり
本舖 大阪心齋橋 東京箔屋町 丹平商會藥房

謹告
四月十六日十八日京城日報掲載紹海軒廣告中元金谷園主廚于英洲を本月十四日より給料に十五圓にて招致特別料理云々と有之候も右コックは金谷園にては第五番目のコックにて一月十六日解雇致候弊園主廚馮湖根は開業以來五ケ年間現任弊園に營業に從事致居候間此段謹告仕候也
大正七年四月十八日
京城長谷川町 電話一五二五番
高等支那料理 金谷園 主人謹白

質 大塚質店
京城明治町二丁目元鍾町 電話一八四九
◎◎戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全金庫の設備あり
◎◎多額の融通も御便宜を圖る

小森式淋毒液 説明書進呈
何病にても服藥の效なき頑固なる病を治す 東京芝櫻川町 小森順生堂藥劑部

發賣 東京市下谷區長者町 振替東京一三九五七 竹島製劑所

陰萎にゴスペール本劑は肉慾の營養强健を主眼とせる植物性補腎新劑にして生殖器神經に作用し其主効は生殖器障害に實試上の力ある陰萎增勢藥なり今直に用ひて一回の用量僅に一錠

適應症 神經衰弱性陰萎 精神的陰萎 衰弱性射精・早漏・夢精・遺精

（藥價）九錠入金一圓◎廿一錠入二圓◎六十三錠入五圓五十錢◎百廿六錠入十圓
特約 東京市本郷區 振替 吉田萬珠堂

◎痔疾專門
◎入院隨意
いぼぢ・だつこう・じらう・はしりぢ・さけぢ・かゆぢ・あなぢ・こうもん（結核・梅毒）・こうもんきようさく・痔疾神經衰弱
京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二一〇二番）
京城 久枝肛門病院

新學期は初まれり

先づ頭腦の明晰、精神の爽快、身体の健全、記憶力の增進を計られよ
而して朝夕召上る一杯の蛇の目印ポートワインは是等の凡てに滿足を與ふ

◎蛇の目印ポートワイン

蛇の目印ポートワインは最優良生葡萄酒を基礎とし補血强壯劑を主成分として精製せる醇良無比の代表的甘味葡萄酒なり

發賣元 大阪高麗橋 松下善四郎

（全國到る處和洋酒食料品店藥店等に販賣せり（品切の節は發賣元へ御注文あれ）
（定價壹壜金七拾五錢）

體力の增進 病弱の快復

ホシ人參製劑

賞用すべき藥用人參の効果
朝鮮總督府顧問 東京帝國大學醫科大學藥學博士 三宅驥一

▲斯の如き容体の人は常に人參を服用せられよ
△肺病質の人 △神經衰弱の人 △老衰や萎陰の人
△精力缺乏の人 △ヒステリーの人 △血の道子宮病の人
△營養不良の人 △冷へ性の人 △貧血や目暈する人
▲効力多くして價格亦低廉なるホシ人參製劑！

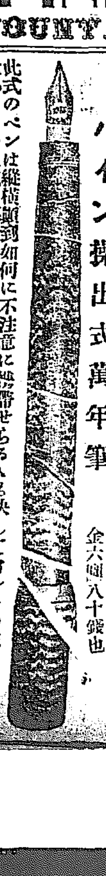
昔は神秘的に信仰されて居た人參の効能も、現代に於ては學者が之を科學的に信認するやうになつた。而して其の徹底的なる効果を與ふる病氣は多種多樣ある。殊に最も知悉された効能は、之を服用すると血液の循環をよくし身體が非常に温かになる、頭腦が頗る明晰になつて記臆や意志が强くなる精力が旺盛になつて體力體重が增進する、從つて凡ゆる病氣に對する抵抗力が强靱になるから人生が愉快になると言ふことである。何が故に人參はそんな偉大な効果があるか。それは人參の中に含まれて居る貴重なる科學的成分が前記一切の病氣に對し微妙なる働きを以て偉大なる効能を顯すからで、今や現代の總ての學者も充分に是を認識して居る、ホシ人參製劑は世界の人參の中でも殊に最優等の位地を占むる本場朝鮮開城産の人參中より自分が監督の下に更に優良なるを撰んで之れを科學的に精製したものであるから、現代凡ての人參製劑中に於ける最高權威であつて最も優れたる効能を有す。其種類は次の樣に分けてあるが、勿論成分に於ては何れも同一の偉大なる効能を持つてゐる。

ホシ人參丸	廿錢 五十錢	一圓 二圓
ホシ人參錠	五十錢	一圓
ホシ人參末	五十錢 一圓	三圓 五圓
ホシ人參エキス	五十錢 一圓	三圓 五圓
ホシ人參葡萄酒	一圓五十錢	
ホシ朝鮮人參（生）	桐箱入	三圓 五圓 十圓

東京市京橋區南傳馬町三丁目
發賣元 星製藥株式會社
電話京橋一七八五 振替東京二〇五二二

THE SAFETY "PINE" FOUNTAIN PEN

▲新機軸の萬年筆▼
始めて工夫された特許防破裝置
絶對にペン先の保護された
パイン操出式萬年筆 金六圓八十錢也



此式のペンは縱横顛到如何に不注意に攜帶せらるゝも決してインキの漏出することはありませぬ使用終りましたるときこのペン軸に附屬して居ります特創の鞘帽を右に廻せば螺旋ハ動作によつてペン先は自らペン軸内に引込むの時キャップを上に装すればインキの流出するを防遏致すからでムいます因みに此形は萬年筆中尤も最近に工夫作製せしものでありまして且ペン尖が極めて軟かなる故太くも細くも字體を作ることが出來て日本文を書くに尤も妙です殊に鳥の子又は改良紙に良く適して極めて便利でムります

賣捌元 京城日報社代理部 京城太平通 振替三〇〇番

京釜線（南行） 同（北行） 京義線（北） 同（南行） 京仁線（仁川行） 京元線（北行） 同（南） 湖南線支線 兼二浦線 釜山鎭馬山線 連絡

第五版

京城日報

二十日 朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金五錢 ▲一ヶ月金[illegible] ▲三ヶ月[illegible]
廣告料金 ▲五號活字[illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號(編輯)[illegible](營業)[illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

……本國政府よりモーリス大使に……會見するの手害にして……死て政府の意思を表明し來りたれ……調啟を見るに至るべしと期……粗綿物に對する海外需要は益々旺盛を告げ殊に綿糸布類の需要激增は……來し居れるが此の結果……に兩毛地方にて……せるもの……べし(東京)

▲斯計畫の完成

●釜山第二棧橋 釜山第二の……

遊支偶錄 蘇峰生

(三)支那の鐵道

想起すれば實に三十年前なりき。予は『支那を改革する難きにあらず』との一文を草して、之を明治二十年五月の『國民之友』に掲げて曰く、『若し一たび呉越の野、煤烟の上るを見、燕趙の郊、汽笛の響を聞くの日に到らば、政治、文學、商業、兵制其他百般の改革は、人間の作爲を待たずして、自然に來る可し。堂々たる北京の政府、豈に一人の活眼家なからん哉』と。如何にも書生的放言に相違なき也。而して今や呉越の野には、滬寧の鐵道あり、燕趙の郊には、津浦北段、及び京漢鐵道あり。即ち記者が當時紙上の空言は、今や事實として現出せられたる也。然も所謂る記者の改革なるものは、果して如何なる程度迄、成就したる乎。吾人は其の調査を做す迄もなく、書生の高談、何んぞ夫れ容易なるの一句を以て之に答へざるを得ざる也。

されど縱令一氣呵成ならずとするも、少くとも鐵道の開通は、支那に取りて一大刺戟なりしことを否定す可らず。彼の愛親覺羅氏が、一朝にして斃れたるが如きも、京漢大幹線の開通により、南北の聯絡を便にし、由りて以て第一革命の業を容易に成就せしめたる者と、推定するを得可きにあらずや。然も現時の支那鐵道は、概ね不具體也。即ち半身不隨にあらざれば、或は頭首ありて、手脚なく、或は胴體ありて、頭首なきの類たるを免れず。故に苟くも支那の鐵道をして、其の効用あらしめんと欲せば、(第一)は其の各線聯絡の方法を設定するにあり、(第二)は其の運轉を事務的ならしむるにあり。蓋し今日の支那鐵道は、其の聯絡に於て、缺くる所あるのみならず、又た其の運轉の方法、極めて所謂る緩漫遲鈍なる支那式なれば也。

在東京鮮學生の爲めに 山縣生

○東京を出發して歸鮮する前日、私は伴れて行つた朝鮮の二女生の如何に其新生活を爲し居れるかを聞かんが爲に訪ねて行つた、彼等は牛込の女醫學校の近所に下宿して居るのである。其下宿屋は人家の多く立込みたる小路の奥にある粗末な二階建で、彼等は二階の一室を借りて、二人で自炊をして居るのであつた。

○彼等の一人は旅の疲れと食當りとの爲めに健康を害して寢て居た、間もなく回復しさうな容態であつたから、大に心を痛めることもなかつたが、私は彼等の生活の如何にも寂しく頼りなく、暖みの無いのを見て、胸が塞がるやうに感じた。室には何一の飾りもない、見窄らしい机が一ツ、片隅に据てある。三月の中旬のまだ薄寒い頃であるに拘はらず、火鉢は一つも見當らぬ。其處に一人が薄い蒲團をかけて寢て、枕元にはあとの一人が浮かぬ顏をして坐つて居るのを見て私は可哀さうでならなかつた。

○私は態と元氣よく語り、慰め勵まして彼等と別れたが、歸り途には膽が重かつた。若しもいつか東京へ歸るやうになり、且つ資力が出來たなら、自分で彼等と同じやうな朝鮮の學生の爲めにホームを作つて其父兄に代り世話もし、保護もしてやらう、神がかゝる仕事を私がすることを御許し下さる時が來るのだらうかなど、思ひ續けた。

○下宿屋生活の不愉快は今更言ふ迄もない、學生の墮落する最大の原因の一は下宿屋に於てホームの暖みを享け得ざる事である。遠く朝鮮から遊學する學生は定めし一層の寂寞を感じて居るだらう、聞く處によれば彼等の或者は東京に遊學したる爲めに却て母國及び母國人に對する反感を加へて歸つて來るといふ。思ふに下宿屋に於て冷かに待遇される事が其主因であらう。

○支那の留學生の排日感情を醸めて歸るは周知の事である。日本に留學する彼等に反して、米國に行く留學生は皆親米派となるは何故か。米國に於て彼等の多くは良き家庭に引取られ、子の如く、弟の如く愛せらるゝが故である。若しも我國に於ても彼等に暖き愛を示さるゝならば、彼等は直に親日となるであらう。

○朝鮮の學生も同じ事である。東京には總督府の命を受けて彼等を保護監督する人があつて、其人が能く其任務を遂行しつゝある事は私も諒とする處であるが、何分にも多數の學生であるから遺憾なき迄に世話が屆くとは思はれぬ。ことに於て私が切に望むは、朝鮮人の良友たる人々が、一人なり二人なり朝鮮の學生を其家庭に引取つて世話をする事である。

○學生は將來一般朝鮮人の指導者となるべき者である、彼等をして母國に信頼せしめ、母國人を敬慕せしむるは日鮮同化の實を擧ぐる所以で 陛下の大御心を成就する途である。之を爲すは將來一般朝鮮人を率ゆるの運命を有する學生をして先づ我に信頼せしめ、我を敬慕せしめねばならぬ、その爲めに我自ら進んで彼等を愛せねばならぬ。

精神的同化の急 三笑生

六

吾人は、前說に於て、母國僧侶の渡鮮を促し、以て一大使命を成就せんことを慫慂せり。然れども、之を實行せんとするに當りて、言語の不通は、其最も懸念さるゝ處なるが、併合以後朝鮮に於ける國語の普及は、此等の障害を除去しつゝあり。其一例を擧ぐれば、曩に毎日申報社が、新附同胞の爲に、通俗講演會を開催したる時の如き、其不徹底を慮りて、殊に有數なる通譯を入れたるにも拘らず、談佳境に入るや、聽衆は通譯を待たずして拍手喝采を爲せり。斯の如く國語の普及は、滔々として萬有階級に洽からんとす。是豈に母國宗教家の一大福音にあらずや。亦以て鬼に金棒とも謂つべし。若し斯かる好機に際會して、尚且宣傳布教を躊躇するが如くんば、倶に語るに足らざるもの、吾人は寧ろ只默殺し去らんのみ。

若し夫れ鮮僧に至りては、半島佛教の復興に、最も重要なる負擔を分つべき立場にあり、吾人は他日稿を改めて聊か論議する處之あるべしと雖も、茲に忽諸に附す可からざる事あり。敢て一言して以て、彼等の反省を促さんとす。新政の結果として彼等の社會的地位は高められ、佛教復興の爲めには、多大の便益を與へられたり。而して彼等は、其活動の手初として、卅本山の聯合事務所を京城に置き、布教所を設置し、學林を起し、貴族有志は、佛教振興會を組織して、之を外護せんとし、半島の佛教は、今や益々盛大に赴くべき準備成れり。吾人は、之を見て多大の喜悅を以て其前途を祝福し、其成功を期待せり。然るに一般人は、寧ろ猜疑の眼を睜れるが如かりし。詳言すれば、彼等は、佛教復興の曙光を見て的蘇活の思を成しつゝも、從來僧侶を七賤の一として奴隷視したる觀念は、未だ全く僧侶の上より除かざりし也。故に鮮僧としては、今や最も困難なる過渡の時代にして、萬一にも彼等の期待に乖戾するが如き事あらんか、佛教の復興は言はずもがな、彼等自ら賤民の名を甘受する外無きに至らん。されば鮮僧たるものは、細心の注意を以て、宗教家たる修養と品性の向上を圖り、陰德を寶々の裡に積み、以て一般の歸依を興起す可きに、何ぞ圖らん、若者等の間には、只俗を慕ふ情之れ切にして、漸次僧服を脱して俗服に換へ、一見僧俗を辨じ能はざらしむるの風行はる。吾人は、切に其反省を促さずんばあらず。

叙上の如く、此問題は、內鮮僧侶の負荷せる一大使命也。而かも言は易く行は難し。古來宗教の復興者又は宣傳者を見よ、眞に殉教的態度を以て之に當れり。釋迦然り、基督然り、其他幾多の祖師開山の如き、皆然らざるなし。斯て眞の宗教は宣傳せられたる也。吾人は、此意味に於て、歐米の宣教師の態度に、多大の敬意を表せざる可からず。彼等が愛の宣傳に精進せる事蹟を察せば、思ひ半に過ぐるものあるべし。思うて茲に及べば、殊に我宗教家の奮起を叫ばざる可からず。

然り而して、此事たるや、單に宗教家にのみ一任すべきにあらず、實に國家社會の問題として、全國民の等しく、細心と熟誠とを以て之が講究を怠る可からざる事たるや、固より論を俟たざる也(完)

海軍兵器發達(下)

實質形體兩方面の進步

▽形體上の發達

形體上の發達とは兵器の威力を增す爲めに兵器の外形に及ぼした變化である例へば軍艦に於て戰艦たる三笠型(一萬五千百四十噸)の威力を增大する爲めに香取鹿島型(一萬六千四百噸)安藝薩摩型(一萬九千八百噸)となり更に弩級戰艦の河內、攝津型(二萬八百噸)となり超弩級の伊勢、日向型の(三萬一千二百噸)となり長門型の(三萬四十噸)となつたのは形體上の發達の好適例の一である、又大砲に於て十二吋砲が十三吋半砲となり十四吋砲となり十五吋砲となり近く十六吋砲とならんとして居る水雷に於ても亦十四吋が十八吋となり廿一吋となり更に其外徑を增大せんとする傾向があるのである。而して此等は徒らに形體が大となつたと云ふ丈けではなく、形體の增加に伴ひ其威力が益々增加したのである、否軍事上から云へば概して此等兵器の形體は小なる程好ましいのであるが機構上不可能であるので勢ひ形體の大を致した譯である即ち威力を增す爲めに形體が增大するに至つたのである

▽新方面の發達

新方面の發達とは讀んで字の如く全然新しき兵器の發明である、即ち在來の兵器であつては如何に其實質を改良し其形體を增大しても作戰上の要求に應ずることが不可能なので茲に新方面に向つて其要求に應じ得るものを求むるやうになり、其結果として出現したものである、例せば軍艦の戰鬪に於て砲火を以て之を擊沈せんとするに對し、艦に在りては或は舷側に堅厚なる甲板を裝著し又は內部を水密なる小區畫に分つ等種々の工夫を凝して之れに對抗するが故に、艦自身が自爆せざる限り砲火に依り之を擊沈せんとするは殆ど不可能である、此に於てか水中より比較的薄弱なる艦底を攻擊して之を擊沈せんとする要求出で、其結果として魚雷なるものが產れ潛水艇なるものが生じたのである、又無線電信機の如き航空機の如き浮動水雷の如き何れも同樣である

▽科學の反映也

此の如く海軍兵器が進步して止まないのは用兵家の要求が停止する所ないのと、造兵家は勿論用兵家も其要求に應ずる兵器を作出せんとして極めて眞面目に極めて熱心に研究に怠りないからで、苟くも一般の科學界に何か新發明があり新發見があらば直に採て以て之を兵器に應用し、列國海軍の進步に遲れざらんと勉めて居る爲である、語を換へて云へば海軍兵器は時代の科學の反映である(海軍省人事局長談東京)

大阪財界便り

▲麥類相場弱含

新麥類は物慚く出初めんとし商賣買氣不振の大變は今尚相應の在荷ある爲め實物多く下押の狀にて目下圓に付き七升七八合乃至八升唱への相場なるも新物は九升四五合の買人氣もあれば或は九升位の相場を現すやも測り難く小麥は殆んど底を拂ひ新物待の狀にて現物は圓に付き四升三四合の唱へにて目先は五升內外の豫想なれば七八月物は買人氣尚小安を唱へ居れり

▲滯鐵市況弱含

滯鐵は輸出の減退と鐵板の輸入兆々ながら行はれたる爲め市場在荷豐富となり殊に古滯鐵は棉花の輸入增加につれて市場に出廻り多く爲めに相場は弱含みにて目先多少の低落を氣構へ居れり

▲保管貨物增加

大阪商業會議所調査大阪東神外四倉庫三月末日現在保管貨物の粗糖米印支那棉鐵材の增加せるため前月に比し一千百九十一萬圓の增加を示せり內譯左の如し

	前月比較	前年同期比
東神	[illegible]	[illegible]
三菱	[illegible]	[illegible]
住友	[illegible]	[illegible]
澁澤	[illegible]	[illegible]
杉村	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

▲歐航値上と當業

郵船會社にては既報の如く來る五月より歐洲航路現行運賃一噸に就き七百五十志を千志に引上ぐべき旨を發表せしが歐洲運賃の斯くの如く突飛の値上は我對歐貿易に及ぼす影響尠少に非ざるより貿易業者は郵船會社へ値上の妥協方を交渉する所ありたるも郵船會社の態度不鮮明に持て餘し居りたるが道般神戸三八會と橫濱三五會の併合會合に於て歐洲貿易業者の團體なる神戸三八會は郵船歐航運賃引上げに關し妥協引下げ方を東西一致を以て運動する事に決したる由なるが郵船會社の既往數回に於ける運賃値上げの際引下げ運動を試みては何時も泣寢入りとなり居れると一面郵船十五萬噸の提供もある事とて三八會並に三五會の有力貿易業者が運動を試みるも何等の效果なかるべく觀測せられつゝあり(大阪支局)

觀心寺有南朝遺跡 溫喬 東尾光
玉葉南巡終不還。空留遺恨在禪關。老僧唯認櫻花好。不說當年天步艱。

京城學校組合告示第四號

大正七年度京城學校組合歲入出豫算左ノ通組合會ノ議決ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ

大正七年四月廿日

京城學校組合管理者 朝鮮總督府京城府尹 金谷充

歲入

經常部

第一款 組合費 金十九萬五千百四十圓
第一項 戶別割 金十九萬五千百四十圓
第二款 使用料及手數料 金五萬四千二百十六圓
第一項 學校授業料 金五萬四百三十二圓
第二項 幼稚園保育料 金千五百八十四圓
第三項 督促手數料 金二千二百圓
第三款 財產ヨリ生スル收入 金一萬三千三十二圓
第一項 基本財產收入 金千三百五十九圓
第二項 貸地料 金一萬千四百三十三圓
第三項 貸家料 金二百四十圓
第四款 雜收入 金五百三十八圓
第一項 軍用金利子 金三百二十八圓
第二項 物品賣却代 金百圓
第三項 滯納處分辨償金 金百圓
第四項 雜入 金十圓
計 金二十六萬二千九百二十六圓

臨時部

第一款 繰越金 金三千圓
第二款 補助金 金三萬五千八百五圓
第一項 國庫補助 金三萬五千八百五圓
第三款 寄附金 金二千八百圓
第一項 教育基本財產寄附金 金五百圓
第二項 指定寄附金 金二千三百圓
第四款 過年度收入 金八百圓
第五款 繰入金 金二萬六千圓
計 金六萬八千四百五圓
歲入合計 金三十三萬千三百三十一圓

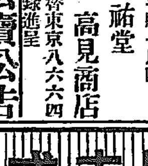
歲出

經常部

第一款 事務所費 金一萬六千百九圓
第一項 給料 金八千四百六十圓
第二項 旅費 金二百七十一圓
第三項 宿舍料 金千九十二圓
第四項 雇人料 金六百九十五圓
第五項 雜給 金九百八十五圓
第六項 需用費 金三千四百八圓
第七項 金庫諸費 金五百四十六圓
第八項 郵便振替貯金諸費 金三百二十七圓
第九項 雜費 金三百二十五圓
第二款 會議費 金七百三十圓
第一項 費用辨償 金六百圓
第二項 需用費 金百三十圓
第三款 小學校費 金十五萬五千二百七十二圓
第一項 給料 金八萬八千四百六十四圓
第二項 旅費 金千八百七十九圓
第三項 宿舍料 金二萬二千五百六十圓
第四項 雜給 金一萬三千三百二十六圓
第五項 需用費 金二萬千百六十九圓
第六項 修繕費 金五千百三十六圓
第七項 雜費 金二千七百三十八圓
第四款 高等女學校費 金三萬三千七百八圓
第一項 給料 金二萬千五百二十二圓
第二項 旅費 金六百圓
第三項 宿舍料 金四千四百二十八圓
第四項 雜給 金二千四百二十三圓
第五項 需用費 金三千七百七十二圓
第六項 修繕費 金六百八十七圓
第七項 雜費 金二百七十六圓
第五款 幼稚園費 金二千八百六十三圓
第一項 給料 金千三百三十二圓
第二項 旅費 金十圓
第三項 宿舍料 金百三十二圓
第四項 雜給 金四百三十五圓
第五項 需用費 金七百三十九圓
第六項 修繕費 金百六圓
第七項 雜費 金百九圓
第六款 簡易實業專修學校費 金千九百四十四圓
第一項 雜給 金千三百九十三圓
第二項 需用費 金五百五圓
第三項 雜費 金四十六圓
第七款 學校衞生費 金千五百六十四圓
第一項 雜給 金千二百十圓
第二項 需用費 金三百五十四圓
第八款 基本財產造成費 金八百九十圓
第一項 學校林造成費 金三百九十圓
第二項 教育基本財產編入金 金五百圓
第九款 財產管理費 金三千八百五十一圓
第一項 管理費 金二千三百六十五圓
第二項 諸稅 金千四百八十六圓
第十款 國庫納金 金七百九十圓
第十一款 雜支出 金八百三十七圓
第一項 借地料 金八十三圓
第二項 滯納處分費 金五百六十二圓
第三項 過年度支出 金六十圓
第四項 一時借入金利子 金百三十二圓
第十二款 豫備費 金三千九百九十二圓
計 金二十二萬二千五百五十圓

臨時部

第一款 臨時手當 金二萬二千九百六十七圓
第一項 組合職員臨時手當 金二千百六十三圓
第二項 學校職員臨時手當 金一萬九千五百七十五圓
第三項 傭人臨時手當 金千二百二十九圓
第二款 小學校費 金五萬八千九百七十二圓
第一項 小學校增築費 [illegible]
第二項 設備費 [illegible]
第三款 高等女學校費 [illegible]
第一項 改築費 [illegible]
第二項 [illegible]
第四款 寄附及補助金 金千五百圓
第一項 補助金 金千五百圓
第五款 組合債費 [illegible]
第一項 元金償還 [illegible]
第二項 利子 [illegible]
計 金十萬八千七百八十一圓
歲出合計 金三十三萬千三百三十一圓



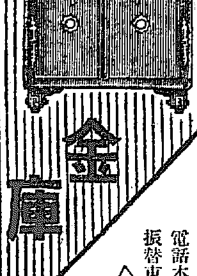
南部鐵瓶製造問屋 岩手縣一戸町 天祐堂 高見商店 申込み次第型錄進呈 振替東京八六六四

鑛業權公賣公告

一、滯納者ノ住所氏名 京城府大和町三丁目十四番地 山下五造
二、公賣財產ノ名稱、種類、數量 京畿道長湍郡小南面所在金銀鑛 鑛區拾參萬〇四百坪
三、公賣ノ場所日時 長湍郡廳 大正七年四月二十九日正午十二時入札開札
四、入札ハ見積價格ノ百分ノ五以上ノ加入保證金ヲ納付スルモノトス
五、落札代金ハ落札ノ日ヨリ七日以內ニ納付セラルヘシ
右入札ニ希望者ハ常ニ廳備付入札人心得書熟覽ノ上入札セラルヘシ
大正七年四月十五日 京畿道長湍郡守 李明煥

下肥馬糞塵埃拂下

龍山第十九師團司令部
同 步兵第七十八聯隊
同 騎兵第二十七聯隊第三中隊
同 野砲兵第二十五聯隊第六中隊
ヨリ生スル下肥馬糞塵埃
右賣却ス望ノ者ハ當部ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽スヘシ
大正七年四月十七日 第十九師團經理部



國末式ペント金庫

進步せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる國末式ペント金庫は……人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の墜擊に無限の抵抗力を有するは國末式ペント金庫の本領とす……

內閣諸官省御用 金庫製作所 國末金庫店 東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五番 振替東一九九〇三 △寫眞入商品目錄は御報次第進呈仕候

櫻の名所御案內

新に名所が生れた 櫻今が盛り 遠方に行くに及びません (便利にて時間の經濟)

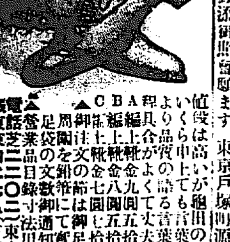
京城旭町一丁目公園下 會席御料理 白水 長電話一三九一、一七一四 別邸電話三一〇〇

旅行具專業 岩田鞄店 京城本町二丁目(電話九五四番)

●利益 ◎財產がズンズン殖える

巧妙なる株式賣買は興產の一法で少しく巧にやれば資金を五倍にも十倍にもすることが出來る○本會の一口十圓共同株式賣買は益々隆盛で會員日に月に增加して居る○本會は擔保を確實にする安全確實の組織である○本會は斯道の權威家を幹部に有して居るから興產に志す人は速に申込まれよ會則は郵料二錢で送呈する

東京市本郷區動坂町一三八 振替東京三九〇七九番 興產研究會內 共興會



値段は高いが龜田の靴なら安心との世評 いくら申上げても言葉だけでは成り品質の諸る言葉に耳を藉さず具合がよくて丈夫と云ふ事が御買下さいまし

▲CBA型 編上靴 金九圓五拾錢 編上靴 金八圓五拾錢 深ゴム靴 金七圓 一枚革 金五圓拾錢

御注文の節は御足形を紙上に畫き且つ御常用の足袋の文數御通知の事 △營業品目錄寸法用紙御報次第進呈

電話芝二二〇七八 振替東京四二八二 東京芝愛宕下町四丁目 龜田靴商店

地方必適 新副業

勤人も農家も商人も直ぐ今より初めなさい技術極めて良き組絲の捲直し仕事で日給壹圓以上は樂に儲けます內職が老人小供でも無類に上等に出來る本業として副業として無制限に供給すれば御希望の方は至急返券貳錢添御照會願ます

東京戶塚町源兵衞七 野村精絲場

△池田勘三氏(海軍主計中佐)同上巴里……へ
△石黑茂雄氏(海軍大尉)同上
△平岡貞氏(海軍大尉)同上
任前田穰西管運輸課書記前田房吉……の所氏は棧橋及び倉庫の視察を爲……

◎敵の前進部隊潰滅

ヘーグ元帥十七日午前公報に曰くリース正面にては敵兵前進の結果我が軍はイープル東方なる前方陣地より新防禦線に後退せり此後退は敵の爲めに何等の追擊を受けざりき敵は我が舊守陣地を通過して前進し來りしも我が後衛部隊は兵火を以て之を防止潰滅せしめたりボアイエル（アラスの南方）と相對する塹壕內に敵の數個部隊侵入せしも我が軍之を擊退して我が後方の戰線を完全に整理したりソンム河南なる我軍の正面には今朝來敵の砲擊開始されたり（倫敦電報）

◎獨軍又復巴里砲擊

十六日獨軍は又復巴里長距離砲擊を行ひ即死十五名負傷四十五名を出せり（倫敦電報）

◎英佛軍攻勢に轉ず

フランダースの戰線に於ける英軍は佛軍の來援を得て攻勢を執るに至れり（倫敦電報）

◎過激派政府の豪語

日本陸戰隊撤退計畫

過激派政府は聯合列國と協定し日本陸戰隊の威信を失墜せしめずして浦鹽を撤退せしむる計を樹つべく若し日本陸戰隊にして飽迄撤退せざるに於ては露國は日本軍隊を一掃すべしと豪語しつつあり（莫斯科電報）

◎過激派を挾擊せん

東部國境ブプラニツチに於て哥薩克の軍人ホムルイロフと云へるものセミヨノフと同主義を以て過激派を驅逐せんと目下同志糾合中なるが同人は哈爾賓及滿洲里に行きセミヨノフ軍其他と協議聯絡を取り東西より挾擊して黑龍江鐵道沿線に於ける過激派を撲滅す可く軍備を整へんとするもの丶如し（長春特電）

◎北京聯合國公使會議

十二日北京に於て駐箚聯合國公使會議開催せられたり會議の內容は不明なるもセミヨノフ援助問題に就き協議せる模樣なりと傳へらる（北京電報）

◎馮麾下兵沙市行

混成第十六旅長馮玉璋麾下の兵全部は十七日三十餘隻の船に分乘し沙市方面に向け漢口を出發せり（漢口特電）

◎土耳其軍要塞占領

土耳其軍公報＝我軍はバツームの要塞を强襲し同地を占領せり敵の損害多大なり（倫敦電報）

◎段總理南下

段總理は十九日午前出發南下に決せり（北京特電）

◎中日實銀新重役

中日實業銀行にては今回重役二名を增員柳生一義陸宗輿の二氏を取締役に推薦すべく內定し四月下旬臨時總會を開くべし（東京特電）

◎滯貨掃拂陳情

十九日四平街以北の輸出商長春に會合し船車聯絡貨物の大遲滯積延滯甚しく爲に各荷主の蒙る損害莫大なるを以て商船會社に對し詰問し極力滯貨の一掃に努むる樣各地より代表者を派し會社と交涉すると同時に都督府にも陳情する事に決議せり（長春特電）

◎堂島解合協議

堂島解合は十九日午後三時より仲買總會を開き協議せり（大阪特電）

◎藤井師團長通過

師團長會議へ列席の爲め上京中の藤井第七師團長は十九日午後八時半安東通過歸任せり（安東特電）

◎京城最近商況

京城商業會議所の調査に係る三月中の京城商況を聞くに米穀は月初以來保合の姿にて荷動き捗々しからず大豆は一般に在荷薄なりしと▲鐵道輸送難の爲め先高見越に依る取引盛んに行はれ一時熱狂的に暴騰し一石十八圓三十錢に上りし事ありしも下半月に入り漸く人氣冷靜に歸し幾分の低落を示すこと丶なりたる爲め平均相場十六圓八十一錢乃至十六圓二十一錢を上下し其他の雜穀類に於ては大麥十一圓二十八錢五厘小麥十七圓四十八錢朝鮮粟十九圓五十錢滿洲粟二十圓五十錢等の各高價を示せり輸移入品の大宗たる綿絲布は原棉高の關係上內地市場益々硬調を示したるに依り當地市場も一層活氣を帶び買氣旺盛にて荷動き▲相當活潑となれり三A印金巾（二十反入）一梱に付最高三百三圓最低二百九十圓平印綿絲十手（二十玉入）一梱に付最高百五十二圓最低百四十圓を唱へ前月に比し何れも十二三圓方を昂貴し牛皮は內地市況鈍狀を呈したれば出廻り少く取引閑散なりしも當地に於ける相場は前月より稍高勢を示せり其他夏期用品類の取引多少無きに非ざりしも季節尙早にして夥しき需要を見ず一般の商況は漸次好氣配を保ちつ丶越月せり、今京城稅關出張所の取扱に係る當月中の貿易額を聞くに輸移出品價三十九萬二千八百七十八圓▲輸移入品價百九十五萬二千六十七圓合計二百三十四萬千百四十五圓にして之を前月に比すれば輸移出に於て十萬二百三十六圓輸移入に於て二十六萬三千七百二圓の孰れも增加にして更に之を前年同期に比較すれば輸移出に於て十二萬二千四百九十五圓輸移入に於て十七萬一千九百四十六圓を孰れも增進せり

◎露國近事情報

三、勞農政府は聞合を以て露皇帝及び其家族の[illegible]しつつあるは是れ勞農政[illegible]對し會し來れり
六、露國とウクライナとの[illegible]あり但し外務部の發表する所に依れば[illegible]

[illegible]雨天を除く外は一日平均五六千に至り四月一日以後の[illegible]落札[illegible]

◎長箭捕鯨狀況

去る五日頃よりなる長鬚鯨の一群を發見し[illegible]全速力を以て之を追尾したるも鯨[illegible]とす本年は例年に[illegible]月遲れ居り三月中[illegible]時期約一箇[illegible]

●朝鮮の水利事業（上）

根本方針の確定を要す

某有力者談

我國の人口が非常の勢を以て日に月に增殖しつ丶あるのは誠に慶すべきことである、凡そ興國の氣運は此一事を以て占ふことが出來る位のものであるから、願くば更に增殖せしめたい、其處で問題は斯く著しく增加して行く國民に如何にして不足無く▲食料を供給するかといふのだ、先覺の士は暇に飽かせて色々の研究を積むで居る樣だが、米食人種に米以外の物で我慢しろといふのは無理だ、已むを得ずんば蚯蚓見た樣に土を食うても生きなければならないかも知れぬが、其諦めのつく迄が困難で、五年十年乃至半世紀や一世紀の間に、日本人が米食を廢することは出來ない相談だ、それで已むを得ない時代になる迄は何とかして多量に、少しでも多量に米を產して、已を得ない時代を先きへ〳〵押し延ばさねばならない、然るに日本の產米は、現在に於ても▲國內の需要を充たすに足らないのであつて、朝鮮米や南京米の供給を受けつ丶あるのは周知の通りである、此事實を事實として、而して將來を懸念するとき何人と雖も先づ我領土たる朝鮮の產米を增加せしめねばならぬといふ考への浮ばぬものはあるまい、此處で我輩の提題が、其論議の必要を認めらる丶ことになるのだ、卽ち『朝鮮の水利事業』なるものが問題に成つて來るのだ、何故なれば、內地では此上水田を擴ぐる餘地がない、且耕作法の如きも殆んど極度の發達を遂げて居るので、同一の地積から現に揚げつつある▲以上の增收は望み得られない狀態である、縱し又若干產額の增加を見た處で、人口の增殖に伴ふなどは思ひも寄らぬことである之に引かへ朝鮮ではマダ〳〵耕地を擴げ、或は耕作法から米種の改良等に依つて產米增加の餘地は少くないと思はれる、殊に耕地の擴張及び其改良に依る收穫の增加に對しては、最も多大の希望を繫け得るのである、此の希望を實現するには大に水利事業を起さね

◎戶別割增徵

當局の辯明

京城學校組合費戶別割は大正七年度賦課總額十九萬五千圓にして之を前年度の賦課額十五萬七千圓に比較する時は▲三萬八千圓の增加なるが之に關する當局の談を聞くに由來京城に於ける組合費負擔戶數は大正三年より六年に至る間は年々增加の傾向を有せしも七年度に至りては却つて之れと反對の現象を示し大體に於て組合費戶別割の負擔戶數減少せりと謂ふべし而して組合費の負擔人員減少の形ありと爲すと雖も之れが爲め教育機關の縮少を爲すべきに非ず寧ろ人口增殖の傾向あり從つて就學兒童數の如きは年々著しき增加を示し大正五年度に於て東大門小學校を新設し又々本年度に於て一校舍を新設するにあらざれば大正八年度の新學期に於て忽ち兒童の收容に▲支障を來さむとするの狀況に立到るべし卽ち之れが新設計畫に當り其財源に付種々苦心研究を遂げし結果一般の經費に非常なる節約を加へ一面二萬六千圓の蓄積金を一時之に充用するも尙且つ不足を生じ其の不足額は結局戶別割の增徵に求むるの外他に途無きに到れり固より一般に組合員の負擔を增加するが如きは最も考慮を要する所なりと雖も國民教育の須臾も忽諸に附すべからざるは勿論▲時局に際し一層其の切實なるものあり依て組合當事者に於て尠なからざる日子を費ひやし特に愼重審議を盡して戶別割增徵のことに決定せるなり而かも偶々內地より新入する者あるも其の多くは戶別割の賦課平均額以下の人多くして負擔能力の大なる人の新入を見ず又組合を離るゝ者は多く鮮銀や拓或は鐵道等の關係上負擔能力の比較的大なる傾向を有せり斯くの如き關係より已むを得ず組合費の增徵に俟ちしものなれども其の結果一般に戶別割の增額を見る次第に非らず戶別割賦課內規の▲標準を更正したる爲め却つて稅額を減少せられし人あり一例を擧ぐれば年收入一千六百圓の者は昨年二十二圓の稅額にして本年度も廿二圓年收入一千四百圓の者は前年二十二圓の稅額にして本年度は十八圓年收入一千二百圓の者は昨年十六圓の稅額に對し本年度は十四圓八十錢の稅額を算するが如き有樣にして必ずしも悉く增額せられたる譯に非ず賦課の標準を更正したる爲め▲大體より見れば增徵となるも細部に亘り總てを增額せしものに非ず一般府民諸君は叙上の事由を諒察して戶別割徵收に際しては納期內に完納せられ度しと言へるが一兩日中には七年度第一期分戶別割告知書發送の見込なりと

◎取扱驛擴張

大貨物

滿鐵京城管理局にては朝鮮線、滿洲線連帶旅客荷物運搬取扱手續を改正して來る二十一日より施行することゝなりたるが右滿鮮兩線連帶大貨物取扱驛を兩線共全線各驛とし取扱上特種の制限ある驛は左記の通り其の制限に依り取扱を爲すものなりと

▲貨物の取扱を爲さゞる驛　新義州、長川里、佳水院、夢灘、任城里、倉洞、龍池院、南山、德源、文坪、蒲灘（以上朝鮮線）楊木林、陶家屯（以上滿洲線）▲車扱及び一車積噸扱貨物に限り取扱を爲す驛　芙蓉、四街里、林谷、德亭、大光里、月井里、劍拂浪、中島（朝鮮線）▲小口扱貨物のみ取扱を爲す驛　渾河、撫安（滿洲線）

◎特定運賃改正

大貨物

滿鐵京城管理局にては鐵道院線發朝鮮線着大貨（無地物）綿絲（除カタン絲）陶磁器等に對し改正し五月一日より施行の旨十九日附局報を以て發表せり

◎立花師團長歸任

第十九師團長立花中將は師團長會議列席の爲東上中の處十九日午後八時五十分龍山着歸任せり

◎仁川府尹の招待

補野仁川府尹は廿一日午後七時仁川八阪樓に於て百武參謀長以下幕僚二十三名の招待宴を開くべく陪賓として官民有志列席すべし

早春、朝過漢江橋、口吟三首　服部江南

[illegible]津。橋北橋南望弱處。江山一色[illegible]
[illegible]漢陽城外杏花處。吟秋來霽楊柳[illegible]
又
[illegible]水煙[illegible]綠柳綠波[illegible]
[illegible]上春。
又
[illegible]大江霧[illegible]現長虹。[illegible]人間步[illegible]
[illegible]西岸[illegible]春風[illegible]是渡[illegible]
[illegible]橋中。

百聞百種

來朝した唐紹儀君は山縣公に酷く感心して『山縣公丈けは頗る眞面目に又或る程度迄赤心を披瀝して意見も述べれば實情も聽かうと云ふ態度であつた』と▲大いに公を德として居るさうだ▲露國廢帝は僅かの間に頭髮がすつかり雪よりも白くなり殊に廢后や姬達は四季の衣類を一通りしか所有して居られぬとは御痛はしい事である▲故小村壽太郎侯は俸給を貰つても茶屋の拂ひや菲當代や何んのかのとムシリ取られて了つて百圓と纏まつて家に持つて歸つたことがなかつた▲だから今の欣一侯なども日常生活にさへ酷く困つたものであつたが何うした調子か稀には少し纏まつて持ち歸ることがあると故侯は『欣一や今日は少し金があるからお前の好きな洋食を食さしてあげよう』と神田の多加羅亭に連て行つた▲この事だけは今にも忘られない嬉しい事の一つであると欣一侯は某氏に追懷したさうだ▲釜山よりの通信に曰く近頃連絡船の乘降客の多いことは例年より數倍に達し十七日朝の如きは一等七名二等百五十六名三等四百四十五名といふ上陸客があつたと

◎製鐵所事件豫審終結

起訴者四十三名中廿八名に對し

昨秋以來天下の耳目を聳動せしめたる製鐵所關係瀆職事件の起訴者四十三名中二十八名に對する豫審決定し十九日午前十時福岡地方裁判所吉村豫審判事の手にて左の如く發表されたり

豫審終結決定書

鹿兒島市滑川會議所會頭第百四十七銀行頭取　有馬純俊（六〇）

右被告事件を當地方裁判所の公判に附す

理由

被告純俊は第百四十七銀行の頭取たる處同銀行を改築するに當り自己の知人たる製鐵所長官押川則吉に請託し製鐵所より鐵材の拂下を受けんとし大正五年二月特別扱にて百數十噸の拂下を受け其厚意に酬ゆる爲め押川則吉に對し薩摩上布四反を大島紬二疋合計代金二百四五十圓に該當する物を贈賄し其際盡力せる製鐵所販賣課主任堀富太郎に對し大島紬二疋薩摩上布二反代金百三四十圓に該當するものを贈賄し且つ下關料理店大吉樓にて則吉富太郎兩名を招き藝妓を侍らし一人前金十三圓十一錢に相當する饗應を爲したるものなり

福岡縣三潴郡大川町深川造船所員　三池直之（三〇）
若松市栃木造船所支配人　橋本安太郎（四一）
福岡縣三潴郡大川町　織田省吾（三六）
大阪製鐵所御用商人　松本宗太郎
大阪鐵工所調度課長　西野芳久
八幡製鐵所販賣課主任　日下虎次郎（五一）

被告直之、安太郎、宗太郎、虎次郎、芳久に對する本案被告事件を當地方裁判所公判に附す

八幡製鐵所書記　楢木才藏（二九）
若松市石川島造船所員　阪田福三郎（四八）
八幡技光貸家業　佐々木權一（三八）
大阪久保田鐵工所員　柴柳新二（二三）
製鐵所販賣課員　吉永治三郎（四二）
八幡製鐵所用達　城富士吉（五〇）
八幡市製鐵所囑託　成田恒（四七）

被告才藏、福三郎、權一、新二、治三郎、恒に對する被告事件を當地方裁判所公判に附す被告藤吉を免訴放免す

若松市栃木造船所主人　栃木順作（四九）
福岡縣直方町　天本茂政（三三）
若松市栃木造船所支配人　栃木久雄（二九）
若松市栃木造船所員　粟屋二三（四一）
八幡製鐵所書記　渡邊友彥（四六）

被告順作、茂政、久雄、二三、友彥に對する被告事件を當地方裁判所公判に附す被告徹雄（三三）を免訴放免す

八幡製鐵所技師正五位勳三等　萩原時次（四七）
南滿洲鐵道鞍山店技師　布目四郎吉（四二）
元製鐵所技師　瀨尾巧（五〇）
東京市京橋區高田商會代表社員　高田信次（四一）
東京市赤坂區新坂町　柳屋美濃吉（五〇）
東京市小石川區大倉組代表取締役　大倉發身（四五）
小倉市　宮本慶宣（四三）
大阪市　岸本隆太郎（三八）
神戶市山本通　多田幸平（四五）

被告時次、四郎吉、巧、新二郎、美濃吉、發身、慶宣、隆太郎、幸平の僞證に對する本案被告事件を當地方裁判所公判に附す

理由

被告時次は被告幸平を介して高田商會大倉組より製鐵所に材料の納入を約し其禮金として高田商會大倉組より五萬圓宛の贈賄を受け其內の一萬圓宛を被告巧四郎吉、飯島製鋼部長に分配したり

其の外時次はシーメンス商會より現金五千圓イリス商會より現金五千圓を受けたり高田商會の被告新次郎より公債一萬圓大倉組の被告慶宣より現金五千圓公債五千圓を更らに被告新次郎より公債三萬圓被告慶宣より現金一萬圓公債五千圓を受く尙被告新次郎より公債三萬圓を受けたり被告四郎吉は被告時次より一萬圓の分配を受け被告隆太郎から現金二千圓と一千圓を高田商會門司支店より現金八百圓を大倉組被告慶宣より現金一千圓を受けたり被告巧は前記時次より一萬圓の分配を受けたる外被告慶宣より公債一千圓現金五百圓を受けたり被告新次郎は十三萬四千七百十九圓を贈賄の情を知り被告幸平に渡し更らに新次郎の手より時次に公債一萬四郎吉に現金八百圓時次に更らに公債三萬圓別に公債三萬圓を交付せり被告發身は被告時次に現金五千圓公債五千圓巧に公債一千圓製鐵技師荒牧武吉にダイヤモンド入指環一個價額五百圓に相當するものを更らに被告四郎吉に公債一千圓を交付せるものなり被告は時次に現金一萬圓公債五千圓被告四郎吉に現金一千圓を交付したり（福岡特電）

▲別報

北九州に於ける瀆職事件の起訴總員百七十名中鐵道員及び二瀨炭坑出張員に關する被告三十九名の分は去月十七日豫審終結を發表されたるが製鐵所を中心としたる瀆職事件の被告四十三名中萩原工學博士、有馬、住友氏等二十八名に關する豫審終結し第二回分として十九日午前十時發表され何れも福岡地方裁判所の公判に移されたりと（門司特電）

▲廣告▼

生徒募集廣告
本局事務員及技術員養成科生徒約三百名（朝鮮人）ヲ募集ス○志願者ハ來四月三十日迄ニ願書、履歷書及民籍謄本ヲ添付シ本局ニ提出スヘシ○入學資格ハ本局臨時土地調査局ニ奉職シタル者ニ限ル○五月六日體格檢查、ア五月七日選拔試驗ヲ本局ニ於テ行フ○修業期間ハ約一箇月半在學中ハ手當日額二十錢ヲ給ス○卒業後ハ月俸十五圓以上ヲ以テ技手又ハ雇員ニ採用シ尙追テ技手ニ任スルコトアル島ヘシ○詳細ハ四月十八日以後ノ朝鮮總督府官報廣告又ハ本局ニ承合スヘシ
大正七年四月十七日
朝鮮總督府臨時土地調査局

購買入札
二、三百六十五貫匁
詳細ハ大正七年四月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

中央巢礎

最新式一時五房付蜂群養蜂巢礎純蠟製品
當分左記特價提供數量有限急注文
一封度（ラ式長框八枚）壹圓五拾五錢
十封度以上每封度壹圓五拾五錢
五十封度以上每封度壹圓拾五錢
百封度以上每封度壹圓拾錢
但荷造込料實費受
京城府苑洞三四
製造販賣元　中央蜂園　振替口座五三八番

最新刊
地番入　京城府管內地圖　洞町疆界入　大正七年度改正　特價一圓五十錢
書名　著者　定價
人造色素絵具製造法　一、五〇
植民政策　一、八〇
歐洲戰爭と帝國教育　一、二〇
獨立すゝめ　一、一〇
英國の偉人クロムウエル　二、〇〇
何人も知らねばならぬ日用理科學の常識　一、二〇
大正七年度朝鮮職員錄　六五
朝鮮と合　一、三〇
さまのお話　一、二〇
ニイチエ全集　一、六〇
手紙とはがき新編書翰文　五〇
瓜哇事と甘蔗　七五
大正七年度朝鮮面一覽　七〇
法司警察法規集

大阪屋號書店
京城本町二丁目　振替京城二五七三

▲流行 新發布▲
▲特價金拾圓也▼
純毛にして新流行織物四種
世間ありふれたる內地製品にあらず
純英國製にして「シワノヨラヌ」
右壹白枚限り特價販賣
仕候間至急御注文願上候
京城太平通り一丁目
京城日報社代理部

鑛山用
土工用車輪
新品三十五臺
中古百六臺

中根式擠內押上ポンプ製造販賣元
虎印青紙八角鋼朝鮮一手販賣元
京城南大門通五販賣部
中根商會
京城岡崎町製作工場
電話一〇四番
電話龍二五六番

タイヤ製造卸特約多賣
合資會社 神戶市元町六丁目 神戶タイヤ商會

京日案內
普通　一回前金五十錢　一番外一回前金一圓
▲申込後中途廢止の節は料金不返戾
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は必ず數字の番號御記入を乞ふ

店員入用
年齡十五六歲より廿四歲迄の者希望者本人來談但し要保證人
京城本町一　ますや吳服店

◎事務員に被履たし齡廿一歲にして高等女學校卒業但勉強の出來る處を望む（姓名在社）

鑛山部事務員募集
鑛山業實地經驗事務員採用す希望者至急乙來社
京城黃金町壹丁目　不二興業株式會社

三先流生花會
四月廿一兩日　會場南山本願寺

橫井松甫社中

店員入用
年齡十七八歲位要本人來談
京城本町一丁目　振替二五七三番
電話二六八・四　大阪屋號書店

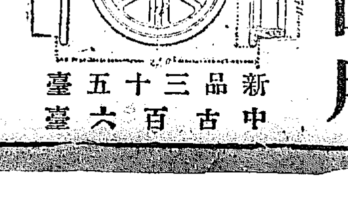
◎**礦物定量分析**
太平町二丁目　坂元分析所
朝鮮公論社入　電長二三四

便利社
引越荷物及小荷物運搬速達信書配達諸廣告配達
電話二七八八番　取次電話三八五
左横小路入

利便運搬部

恩給年金立替
三年分迄無保險五年半迄利一番
京城若草町金光教會裏手
國江商會　電話三三九

恩給年金立替
年金長期低利即金公債證券現物買賣擔保貸附
京城若草町一三〇一番　電話三六〇一百
西村商會



一、四月八日[illegible]同盟會は露西亞社會主義勞兵聯邦共和國と記せる赤色旗を以て露西亞共和國の國旗と制定する旨の法令を裁可せり

[illegible]することゝ決せり

三、臨時[illegible]務委員は昨日波斯公使を招き波[illegible]政府が露政府時代の露國公使ヴオネッターと應接を持續

[illegible]於て露國商船三十隻を抑留せり

五、埃[illegible]國外務省は無[illegible]電信を以てプスコフ經由ペトログラードに向ふ捕虜委員會に便宜供與方照[illegible]

[illegible]す十日スモレンスクに到着せる[illegible]國委員は十二日莫斯科に引返せりスモレンスク勞兵會にては講和談判不調に終はるべしと觀察しつゝ

[illegible]群山[illegible]
[illegible]繩叺改良組合群山榮町檢査所取扱に係る四月一日以後十四日迄の檢査數量は八萬一千枚に達

[illegible]部開城鮮人當業者の落札購入せるものなるが落札當時二十日の購入豫定は六萬枚内外なりしが三月末迄には優に十萬枚を超過すべしと

[illegible]果本月に入り意外に多額の出廻りを見るに至り契約期限來る二十日[illegible]

[illegible]要は此程長箭事業場に到着し此方面の採鯨に著手したり則ち八日未明[illegible]港を出帆したる前記三捕鯨船は午前十時に至り更に同附近に於て克鯨二頭を發見し内雌一頭を捕獲し同日午後三時長箭に歸着せり是は南方注文津沖合を探鯨中十四五[illegible]れ母[illegible]産事業協に於ける本年の初獵[illegible]見たり[illegible]より漸く天候も定まりたれば今後の活動は大に囑目に値すべく一般に期待せられつゝあり

◉打ち寛ぎて御歡談

李王御催しの午餐會に台臨の東伏見宮殿下!!

總督以下文武顯官綺羅星の如く

十九日午後零時十五分昌德宮仁政殿に御著遊ばされたる東伏見宮殿下には宣政殿に於て改めて王妃兩殿下及び李堈公殿下と

◇御對面あり、一應御著座相成りたるが軈て宮殿下には御附武官南鄕大佐以下幕僚を王殿下に御紹介遊ばされ終つて長谷川總督、山縣政務總監、松川軍司令官の御挨拶を受け給ふ、夫より王殿下には

◇妃殿下の御告別を宮殿下に御紹介、直に東行閣上階へ成らせられ宮殿下と共に陪席の各員御引見の上仁政殿大食堂にて花の御宴を催さる、時に零時半、宮殿下を正座に李王、李堈公兩殿下御着席、長谷川總督以下文武顯官朝鮮貴族等六十餘名

◇綺羅星の如く居並び善美を盡したる大食堂は眼も醒むる許りの壯觀を現出す、宮殿下は勿論の事王殿下も久々にて我竹の園生の御方を迎へられし事とて滿面に溢るゝ許り歡喜の色を湛へられ進んで樣々の

◇御物語あり、宮殿下には亦打ち寛ぎて御歡談遊ばさるゝなど春闌なる殿裡更に春の氣漂ひ陪席者一同日鮮皇室御親和の御模樣を目の邊り拜し奉るを得て感激せざるはなかりしと傳へらる御宴中は絶えず奉仕の李王職音樂隊爽快なる

◇歌曲を吹奏して興を添

◆御土産品◆

＝宮殿下より王家へ王家より宮殿下へ＝

東伏見宮殿下には十八日石造殿御著と共に李王同妃兩殿下及び李太王殿下に對し御土産品の御贈呈ありたるが十九日右御返禮として三殿下よりも夫々御進物相成りたり御贈答品目錄如左

▽宮殿下より
李王殿下へ 置時計一個、織物一卷
妃殿下へ 織物二卷
李太王殿下へ 陶器製花瓶一個、絹織物一卷

▽宮殿下へ
李王殿下より 螺鈿文机一個、靑磁製花瓶一個、博物館所藏品寫眞帖一冊
妃殿下より 螺鈿手函一個
李太王殿下より 靑銅象眼花瓶一個

▼秘苑の春

＝お氣に召した玉流川!!

千古の老松參差として枝を交ふる秘苑の春は鬱蒼に匂ふ連翹と眞紅燃ゆるが如き躑躅の花に彩られ幽邃の仙境一しほの情趣を添へたり殿下には閔長官の御案内にて幕僚を隨へられ札を綴めて秘苑の

◇春色を賞で給へるが有名なる玉流川の附近は殊に御氣に召したるものか特に御徒歩にて御逍遙あり『飛流三百尺』と苔むす巖に彫み付けたる詩を御覽ありし際は思はず御微笑を漏らされたるが殿下には夫より六角堂を御覽

◇演藝堂の邊りより再び御馬車に召して昌慶苑へ向はれたり昌慶苑にては動植物園博物館等を限なく御巡覽の御豫定なりしも時間の御都合に依り唯水禽舍を一週せられたるのみにて直に中央試驗所に馬車を驅り給ふ

□博義王

＝御婚儀聽許＝

伏見若宮博恭王殿下第一王子博義王殿下と公爵一條實輝氏の第三女朝子姫との御婚儀に就ては伏見宮殿下より畏き邊りへ上願中の所去る一日聽許の御沙汰ありたりと(東京特電)

▼中央試驗場へ

＝精巧なる陶器に御感服＝

殿下が中央試驗所へ御成りありしは三時十分、豐永所長以下同所職員、工業專門學校工業傳習所の職員及び生徒等數百名の奉迎裡に御機嫌麗はしく御著遊ばさるゝや直ちに豐永所長の御先導にて

◇休憩室に入られ御少憩の上階上なる生產品陳列場より構內各科を御巡覽相成りたるが製紙の盛況は太く御目を惹きたるものゝ如く稍や暫時御足を止められ應用化學科にては折柄白粕より香料採取中なりしが是又御興味を以つて眺め給ひ

◇陶器科にては『斯んな立派なものが皆此處で出來るか』との御下問あり豐永所長が然る旨御答へ申し上げしに頗る御感服の態に拜せられたりと御視察は約

◇一時間にして終り殿下には直ちに同所御出發歸途李堈公邸に御立寄りの上午後四時半石造殿へ御歸館相成りたり

▼朝鮮古樂演奏 李王職にては殿下の御旅情を慰め參らせんとて十九日午後六時より石造殿階下大廣間に於て朝鮮古樂を御聽聞に達したるが豫て音樂の御趣味深からざる殿下の事とて頗る御滿足の御模樣なりしと申す

◉總督の寄附

▽京城神社へ三百圓

昨秋京城神社大祭に際し各町氏子總代會の協議を以て總額金五千圓を豫算し御神幸用の御所車其他を御調し奉納し所要金額は氏子の有志より志納金勸誘中の所今般長谷川總督も其の趣旨を贊せられ特に金三百圓を寄附せられたりと

◉櫻と桃と杏と梅と

一時に咲き出して妍を競ふ

京城の春に醉つて花下蔭を縫うて歩けばあるわあるわ！萬朶の花！それは宛かも

六枚屏風に描かれた繪の樣

茲數日暖かな日和が打續くと滿都の櫻花は聳り立つて一時に開いた春の扮裝は一段の光彩を放つて人の氣を唆る、花萬朶!!花萬朶!!行樂の春は既に闌ならんとする、爛漫と咲き誇る花下蔭を縫うて歩けば先づ近くは

♣南山公園 ここは樹はまだ稚いが松の緑に映えて鮮かに眺められる山裾を綴る家々の庭には大抵櫻を見ぬ所は無く山懷を縫ふ道から見下して行く景色は六曲屏風に描かれた花見の畫を見る樣である、北漢山を渡つて來る清新な空氣が淡い香りを送る心地よさ南山神社から總督府の坂を下る兩側は

◆花の道で 金線帶劍の通行者の面にも春の微笑が浮ぶ、南山神社の神池から溪流に沿うて總督官邸前に至る俗に櫻谷と稱する處は今まさに枝を交へて咲き亂れ花のトンネルの下を山澗水が微かにせゝらいで流れてゐるこゝは木も可なり大きく數も多い又例年夜櫻に賑ふ處で十九日から千燭光の電燈數箇が點せられた、四軒町からは奬忠壇を望むと

♣淡紅の雲 が湧き上つた樣な櫻の一團が見ゐる百花園の櫻で黄色い連翹が其間點綴して美しい杏も紅梅も咲いてゐる、こんな梅や櫻が一時に咲く景色は朝鮮ならでは見られぬことで午後四時の退廳刻から見物人が出盛る、昌慶苑の櫻はこゝ二三日が最も見頃で滿目の花の中をパラソルが動くリボンの蝶々が走る朝鮮婦人の綺羅が翻へる人と花とが縺れ合つて春を享樂してゐる

◉綻びそめた牛耳洞の櫻

廿一日の日曜あたりボツ／＼

と聞いて二十三四日頃には滿開か今年からなくなつたけばけばしい廣告

市中の櫻がボツ／＼咲き出したけふ此頃、牛耳洞の櫻も默つては居られないと、チラホラ綻びそめたといふ、噂に引きつけられて十九日の午前、所謂『櫻の村』を訪ねて見ろ、この日朝から曇つたり照つたり、ミルク色の雲の塊りの中から微かに春の陽が洩れてくるのは

◆花曇り ともいふのだらうか、花見には打つてつけのいゝ日和であつた、自動車の驛つてゆく東小門外の、議政府街道の沿道には、新柳の縫々たるあり、櫻桃の花の簇々として紅雲をのべたるがごときあり、梨の花の白く匂やかなるあり、淡緑なる小松山の間に點綴して今を盛りと咲き出た山躑躅のあるがあり、麥の靑、草の緑と相和して百花繚爛、春色今や當に酣なるものがあつた、牛耳洞に著くとその入口からして『一樹枝折るべからず』と記した牛新らしい憲兵隊の

◆制札は 一見甚だ嚴つい感じはしたが、これもかゝる場所になくてはならぬものとして見れば、却つて花見氣分をたすける一つと思はれるのも、滑稽な矛盾であつた問題の櫻は有蘂にまだ咲いてはゐなかつたがそれでも紅唇已に大いに綻んで、露をも吸はば今にも開かん風情は二十一日の

◆日曜日 には五六分通りは咲き出すだらうと思はれた、試みに、とある樹の傍近く寄つて蕾の一片を手に取つて見ると、膨らんだ蕾には褐色の萼がぎざ／＼と切れて淡紅い花瓣はまだ、ふつくらと蕾んでゐるが、その先きのところは白く柔かく綻びかけてゐた、若木の櫻は最う咲き出でてゐるのもあつた、これで見ると

◆滿開は 二十三四日頃であらうが、二十一日の日曜に行つて尙早の悔を貽すやうなことはない、櫻と共に行人を喜ばせるものは入口の左の小山一帶に咲き亂れてゐる躑躅である、櫻咲き揃ふまでの景物めいて頗る風趣を添へてゐる、花見の客を當込みの茶店も已に要所々々に店を出して緋の毛氈にエプロンの女などの點景よろしく、客を呼んでゐるが、就中サッポロビール會社が

◆一手に 借切つたといふ、滾々の音せはしく流れる谿川の兩側からさては川に臨んだ谿合には、瀟洒な本當に瀟洒な葭簀のビヤホールが十數ケ所出來裝飾といつては赤い腰幕を張つて軒先きに岐阜提灯を吊したばかり、從來多數の花見客に反感を抱かせた俗惡で、醜劣なビールの廣告——即ち各ビールの小旗、天幕の如きものは全くないのが、何より嬉しかつた、聞けばこれは吉田サッポロビール京城出張所長の發案で、かうしたのだといふ

◆花見の 場所は何處も斯くありたく、今年はたしかに周園の下等な色彩に心を煩はせず落ちついた心持で靜かな花見の能きることを喜ばずには居られない

咲いた！咲いた！！

倭城臺官舍の櫻 ＝花のトンネルより見る＝ ＝十九日夕刻撮影＝

◉問題の齒

疑問は更に疑問を生じ來れり

既報の如く其筋に於ては問題の中心人物山崎某の現住所に就き搜査中の處其當時山崎なるもの二名あり一名は現に鍾山草梁小學校教員として轉住し居れども本件に就きては何等關係無き事勿論なれど今一名の山崎に就き引續き

◬搜査中 なるが七太郎の指名せる山崎は今回發掘せる屍體なりと云ふも彼れが最初申立たる本人の特徴と異なる點を發見す、即ち問題の齒牙に於て彼は埋沒屍體の齒は奥齒一本拔け居れりと云ふも十八日更に府山署にて窪田檢事、鈴木署長、米谷警察醫、佐々木辯護人等立會の上取調べたるに上下共に十六枚あり完全す、茲に於て

◬屍體は 疑雲益々深く山崎なりや坂本なりや何れとも斷定し得ず若し山崎某現存したる場合彼れの行衞判明と共に、事件は一層迷宮に入るもの丶如し、十八日朝より窪田檢事引續き其の當時の近隣の者其他に就き夕刻迄取調べたり然して屍體を檢證するに就き山崎の名前を知る必要あり佐々木辯護人は十七日夜

◬獄中の 七太郎に『屍體檢證の爲來た山崎の名前知らせ』と打電せしに十八日午後一時半『名前聞かぬ分り兼ねる』と返電あり十八日檢事の取調べたる要點に據れば源吉は常に頭髮を分け居り山崎は五分刈なりしと、問題の齒に就き隣接の森田某の妻の云ふ所に據れば俗に茄子齒乎金の入齒ありと、種々綜合するに屍體は更に疑問を生じ來れり茲に於て當地にては二箇の屍體と二箇の重犯罪を惹起すべきか(府山にて特派員發電)

◉一個の一厘錢

『三文錢』の一つか

坂本源吉に似て居る?

十七日午後五時より迷宮に入りたる白骨事件の死體の檢證は窪田檢事米谷警察醫の手に依り行はれたが死體は頭部を西方に向け一種異樣の異臭と共に發見された、精細に搜査して見ると骸骨が一片もない許りで骨格殆んど全部が揃つて居た、之れは多分人夫が發掘の際失つたものであらうが殊に疑惑を增したのは長さ二寸位の頭髮が現形の儘現はれた事であるそして今一つは骨盤の部分に生々しい陰毛が附着して居つた事である、締めて居た帶は未だ全然朽ちて居らず處々に現形を存して居るが地は淺黄色の縮緬らしい

◬更に興味あるは 一箇の一厘錢が發見された事である、之れは兇行當時惡漢ながら埋沒の瞬間良心の閃めきに依つて三文錢の代りに死者の懷へ入れたものと推察しても出來ぬ事はない、そいれから益々疑雲の擴大するのは下顎の右側に缺けた如な一枚の齒が殘り其の他の齒が全部揃つて居て以前水中から發見された坂本源吉に類似して居る事である何故な[illegible]二寸位長さ四尺位の棒が

◬死體と共に發見 されたが死體と棒切とは又一種の因縁と怨恨が含まれて居ないかと推され、屍體の骸骨無縁佛、火の玉と種々巷に取沙汰する死體は八年の長日月空しく土中に眠つて香華の何者たるかを味はつた事のない悲慘な[illegible]たが佐々木辯護士は十八日朝山で手厚い供養を行ひ窪田檢事一行及び府山警察署長其の他有志も參列したが彼の無緣佛も嘸かし滿足に成佛したであらう而して同骸骨が山崎某であらうとは一般の噂となつて居るが

◬他に同姓異人がある かも知れぬ處が名前は判明しないが方魚津の者で賭博を業とする卅七八の小柄の男があつて常に同地と方魚津間を往來して居た、其の男を知つて居た人の直話に依ると件の男は腕に花の入墨があると云ふが七太郎が口にする山崎某も亦櫻の花の入墨が腕にあると云ふから若しや其の男が山崎某で今に生存して居るのではなからうかとの推定もされるが其の男は四十四年即ち兇行當時より約二年前から亂に同地方に姿を見せなかつたと云ふから又五里霧中の感を懷かしむるではないか(十八日群山支局發)

得難き好機を利用して

再び得難き好機會に於て軍艦を參觀しようとする人が大分京城及び附近に多い樣でありますから、吾社は茲に軍艦參觀團を組織して京城及び附近の御方々の御希望を充たしたいと存じ恰度二十一日は休日の事でありますから『花の仁川』へ皆樣を御案内いたす事としました。故に御希望の方は當日南大門驛にて往復券を求められ度い、往復費用は左の如く割引致します。

花の仁川へ 軍艦參觀

殊に時刻は早朝でありますから、軍艦の參觀と花見以外に充分の御用達が能きることと存じますから御誘ひ合はされて御加盟あらんことを切望します。尙ほ左記の往復費用は軍艦及び月尾島行きの艀賃まで籠つて居りますから旁々御便利と考へます。

□尙ほ往復券五枚御希望の方へは本社へ御申込次第持參致します

特別列車＝發車時刻

(往)……南大門驛發……午前八時三十分
(復)……仁川棧橋發……午後五時五十五分

往復汽車賃(艀賃とも)

一人 金八十錢
滿十二歳以下小兒 金五十錢

◎三菱製鐵出火

十九日午後四時三菱製鐵所木炭倉庫より出火、消防出動鎭火に努めたる結果同五時鎭火せり原因取調べ中損害一千圓也(兼二浦特電)

◉河井氏控訴棄却

朝鮮民報社長河井朝雄は十九日午前十一時大邱覆審法院に於て裁判長辻判事より控訴棄却の旨判決言渡しありたり(大邱特電)

◉軍艦見物を兼ねて

廿一日の日曜を……花の仁川へ

特別列車の運轉＝好機を逸する勿れ

仁川名物の躑躅は目下東西兩公園及び月尾島さては桃山、運動谷、萬石洞その他附近の山野に今を盛りと咲き競ひ又た櫻花は市中各所とも九分の眺めにて早きは府廳裏手の如き滿開となり散りも初めざる風情はコヽ一兩日の間なるべく左れば二十一日の日曜日は全市の櫻花躑躅、連翹を初め野外の菫、蓮華草、蒲公英等百花繚亂の嬌態を競ひ恰かも『花の仁川』の觀あるべし殊に昨今は珍らしくも軍艦碇泊して一般の參觀を許す由なれば旁々二十一日の休日は各地より態々仁川に趣く者多かる可し、此好機に際し軍艦見物を兼ねて花の仁川に一日の清遊を試みんとする人士は本欄の社告を參看せらる可し

◬早も土曜から 學生の軍艦見物

目下仁川碇泊中の軍艦參觀の爲め二十日午前六時二十五分南大門發列車にて京城高等女學校生徒六百名、同日午前八時三十分發同驛列車にて京城中學校生徒八百三十名何れも仁川へ來る筈なるが仁川は昨今吉野櫻及び名物の躑躅等滿開なるを以て土曜日より休日にかけて定めし各地よりの觀光客多かるべしと(仁川電話)

鳳山遊園の櫻滿開
夜櫻！數千燭光のアーク燈を點火す
サクラビール
愈々本日より開園

新式魔法瓶 ◆新荷著
■容量 二合七勺以上 六合五勺迄
■代價 一圓廿五錢以上 五圓七十錢迄
中瓶の破損は安價に即時入換可申上候
京城 三越吳服店

◉菜花千里 北九州の春

＝工業地と工業地が續く＝

驚かされる發展狀況

—九州視察團より第三信—

大里から福岡に向ふ鐵道沿線の春は朝鮮の初夏を思はする程に老いて來た町々の甍の間や村里には牡丹櫻や椿の濃厚な色が

▽春光 と映發して居る綠敷く野には眼も醒めるやうな菜の花が咲き亂れ靑麥はもう四五寸も延びてゐる山は新綠の活々しい色に敝はれて赭土の山も多木立のまゝの林も見ゐない

▽朝鮮 から來た者の眼には驚異を感する程に時候の早さが感せられる、門司福岡間の鐵道は列車の往復が頻繁で二十分間每位に貨物列車や客車が擦れ違ふ然も何の列車も

▽立錐 の餘地もない程である處を見ると總てに於て悠長と緩漫に慣らされて居る朝鮮下りの我々には眼眩るしさをさへ感ずる程で業も其の

▽高層 な建物と煙突と煤煙に黑ずんだ空と、工業地と工業地が市街を以て接續されんとしつゝ有る發展狀況を見たのみですら如何に規模が大に如何に

▽殷盛 であるかと窺はれる、一行は今暝關に向つて西下しつゝ有り本夜は指定の旅館に分宿の上自由行動をとり明日は北進會觀覽の豫定(十九日九州列車中にて＝早川生)

◉籾船の難破

木浦資町八木某所有帆船第八號新榮丸(二百石積)に船頭西田泉(四八)外內地人一名朝鮮人船夫二名乘組み四月八日全南靈光郡法聖浦にて籾二百五十俵(四千九百圓)を積み込み木浦に向け航行中九日午後十時三十分頃務安郡押海島と鵲島との間を航行中潮流の爲め船體を岩角に乘り上げ破損沈沒するに至り積荷も全部流失せり乘組員は辛くも上陸せしが損害九百圓なり

花吹雪

大阪　中谷青霞

（六）

『亭主がおゐやらう、呼べ、これへ呼びやれ。』

と白柄蝋鞘の脇指に緋の下緒つけたるを、片手に突いて床柱に凭り、裾を少しにじつて威丈高に云ふのは建部讃十郎の一子兵馬、旗本の若殿には餘りに洒落た町風の髪、香の煙りを焚き込めて、艶々しい油の色、黒に二本筋の熨斗目して、大きやかなる五所紋の茶流しの小袖、裾に緋裏の燃ゆるやうなを覗かせて故ざと羽織は著ず白獨鈷の博多帯を解んばかりに締めた姿は、伊達の江戸には人もなげ振を見せ乍ら、脇差を預らうとする端を。

『ならぬ。』

と兵馬は一喝あびせかけて

『ならぬわい、唐土を出さぬうちは魂は離されぬ。』

『ぢやと申して、廓の規定……。』

『掟はよう知つてゐる、なれどそれは野暮に刄物三昧もしやうとある奴に云ふこと、高が賣女の達引男の意地でこそ通ひもすれ、この兵馬まだ鯉口刻んで口惜しさを忍ぶ程の情けも受けぬ身ぢや、況いて顔をも見せぬに、打解けて腰のもの預けうやうはない。』

き狀である。

『今この座敷へ這入りがけ、ちらりと見た唐土の姿、遊あらうとは見ねぬさき、一枚の舌も可い程に使うておけ。』

と腰巾著の柳川香雨、熨斗目はなけれど黒の羅き袖に江戸紫の裏を見せ、同じ白博多に朱鞘の一刀腰にした盤眈となつて云ふ。

銚子と盃鬼も角持て出た萬字の新造は、日頃の横車に馴れてはゐれど、流石に持て扱ふた解で。

『なれば便用にでも立たれたのでござりませう、心地惡しいには相違ござりませぬ、まゝお二人樣ともくつろいで一献召し上りませ、唐土さまばかりがこの廓の花ではござりませぬに……ほゝゝまゝ兎もあれお腰のものを此方へ下さりませ。』

『餘人は知らぬ、當時賣り出しの柳川香雨が口を利くからは、邪が非でも唐土は出させて見せる、亭主を呼べ、呼ばぬか……。』

と香雨は眼角鋭く睨まへる。

『何と仰しやつてもお腰のものを預りませんでは……。』

と新造も却々脅されてはゐぬ。

『さらば亭主に預けう、兎まれ亭主を呼うで臭りやれ。』

と兵馬は少しく色を和げる。

『ならば一献召し上りませ、直ぐ主を呼びまする。』

新造は銚子を取上ぐる、兵馬は大盃を片手に取つて浪々と注がせ、ぐと咽喉を鳴らす痛飲の體。立て行く新造の後姿を見送つて二人は顔を見合せ乍ら。

『兵馬殿、今日こそは瞎目〱と歸りますまい。』

『むゝ、はゝゝ。』

兵馬は故ざとらしく高笑ひした。

第二船鐵交換　有望に進行中

後五時淺野[illegible]三、長崎榮造の兩氏ば十六日の會見に於て意見を交換
モーリス大[illegible]と會見の上既に大使したる模樣あり大使の誠[illegible]ある斡
に逕致し[illegible]契約書面の打合せを旋によりて出來得る限り互讓の態
ろ因に第二回の船鐵交換は提供船腹二十五萬噸に對し造船用鐵板其二分の一を受入れむとするもの也

顯著なるものありて今や其の製織は京都、名古屋、兩毛地方は勿論北陸三縣、八王子其他各機業地に於て行はれ製織力著しく增進せるが

▲最近撚糸工業は顯著なる發達を告げ既設工場の增錘擴張頻々と行はれ目下運轉錘數は優に約十五萬錘以上の多きに達せる模樣なるが更に撚絲作業の不足を訴ある外橫濱に於ても絹物業者有志發起となり百萬圓の撚糸會社新設を目論見近日創立總會を開く運びとなり猶ほ同地に五十萬圓の同樣

技術竣工は材料蒐集上遲れ勝ちとなりたるが愈々本月廿日竣工するを以て土木局は釜山税關に引渡し税關主管の下に更に之れを鐵道
し打合せの爲め釜山に來れり因みに同棧橋上より積込む一般貨物は棧橋繫留料及び船舶の關係上當分の內艀を以て輸送積込を爲すべし

▲原田消一氏(海東中學)　同上
▲藤村蓋氏(東京三菱社員)　同上
▲田中清一郎氏(鈴木商會員)　同上

春の行樂と寫眞撮影

下萠の野、緩く澱む野川の流、それに濃淡の影を織る絢爛たる草花や土橋の影倒——から云ふ美しい自然の景色や懐かしい人々の面影さては混沌として入亂れた都會の情景などを興の赴くまゝレンズに收めて美しいアルバムの卷頭。

◆繪筆句やかに春の◆詩を題して樂しい行樂の思ひ出を綴つて置くのは實に常人の窺ひ知ることの出來ぬ喜びであります東京邊では餘程前から華族や名流婦人界に於て寫眞を道樂にやつてゐる人も少くありません

◆寫眞機と云へば昔は◆通手ほどき素人には可愛いゝヴエストコダックと云つて人像用補助鏡玉を使つて立派な人像寫眞の得られる輕便なのがあります、價格は普通十八圓位か

あなたお酌と座を立つ拍子　木村屋アンパンコロ〱と(京城明治町　電二八七〇)

ら三百圓位、それから最近に至つて大いに流行して來ましたのはグラフレックス、シユニアと云ふ米國イーストマン會社の賣出してゐる最新式器械です之は焦點の正確と提圖の確的な點に於て最も優秀なものでフオーカルプレーン、シヤター付で◆千分の一秒まで◆多の微細な開閉を致しますから室內、野外、人物は固より自動車飛行機の如き運動の敏速なものでも自由に撮影することが出來るさうです、價格は百四五十圓から五百圓迄ありますが米國の禁輸令發布以來、同國よりの輸入が難かしくなつて價格が急に暴騰して來たに拘らず之等の高價なものが却つてドシ〱賣て行くのに寫眞商の方で面喰らつてゐるさうです

京城本町　千代田號印舖　電話九八七番　振替口座九八七番

◆春の化粧法◆　梅が咲いた櫻が咲いた春めき渡る今日此頃パラソル片手に野に山に御散策の好時期となりました、此時分は最もお化粧法のする時でございますが又そろ〱日燒けの恐れもありますから御程御注意が肝心です卽朝日本名物のクラブ洗粉で御洗面が濟みましたら一番よくきく日燒止め兼用の美身料として他に類のないクラブ美身クリームをお顔から兩手に丁寧に塗り込んで置きそれから御外出の場合には改めてクリームを塗り込み一番高尚で美しい艶が出るので大評判のクラブ白粉を化粧水で適度に溶かし板刷毛に含ませ襟は二重に顔は襟より少し薄く塗廣げ粉白粉で白粉斑を補ひ頰紅で目の端から兩頰をぼかしまゆずみで濃く眉を作りますと、日燒けの恐ひもなく何處へ出ても一きは優れて美しく見にます化粧品はいろ〱ありますが近頃一番よく賣れて居るのは各地共クラブださうでございます。

新刊紹介(到着順)

▲遠藤博士の易學科講義錄　兼て噂ありし、同講義錄第一號は今月十日を以て發行せられたり。占筮法易學總論、經文講義、占驗論、西洋占ひ、干支の話など何れも苦心の作りに成るものといふべし殊に經文講義は最も苦心の作りに成るものとして學志願者の好指針たり今な入會の好機(一ヶ月四十錢東京市外巣鴨二六五三惠風學會發行)

▲面白俱樂部(五月號)　諸名家の千紫萬紅、結婚ローマンス、陳人手品、婦人寶鑑、學校及び學生、逸話、閑、兵舍の窓等小說に講談に落語に浪花節に何れも大家の手に成り傑作名篇數十篇を滿載せり尙懸賞の募集もあり(十五錢東京市本鄕區駒込坂下町八講談社)

▲園藝虎之卷(六の四)　二十二錢東京麻布富士見町四三富の日本社

▲婦人週報(四の一五)　五錢東京牛込市ケ谷川町二の一七共社

▲保險新聞(月二回發行)　十二錢東京神田北神保町八共社

▲石油時報(四月號)　十八錢東京麻布龍土町六三共社

▲主婦之友(安價生活號)　安價生活に關する諸說と物價騰貴に際して我家の安價生活　五人の主婦の實驗及び家事向の記事豐富にして岡本綺堂其他の小說五百圓懸賞當選發表あり・二十錢東京神田表神保町東京家政研究會發行

讀者の領分

▲時は陽春花期の節近効花を訪ねて詩情を肥やすも可なり時は祭行一類の時春燈の下消夏を繙くも可なり要は時間を有意義に過すにあり特に前途有爲の青年子女に示す(孔夫子)▲京城府民局の玄關には土足を禁ずとあるも上草履の供へなし追々傳染病流行の時季に向ふ際更上草履の必要あり衞生上一甚に外來者を待遇する上に於て少し御注意を乞ふ(潔癖生)▲出發延ですら春時を酬いて尙一日の散策を公衆に分たる然るな市井の個人たる世京亭赤門の公開されざる理由を聞けば前に倣上の沙汰たるのみならず除主の公共心に乏しき癖根に堪へず宜しく速に彼の爲めに之を公開すべし(顧客苦惱生)▲稍々古いが此の間京城ホテルでヷイオリンの溫習會が開かれたその際男子側の窓に寄つた若二才が三人ペチヤ〱と饒べり立てるので氣障でならなかつた君方も好い年だから少し位他人の迷惑も察して貰ひたい(椅子の人)▲溫習會などは興行でないから宜敷く靜肅であるべきだがけは主催者側と被招待者側と反目の趣があるのは遺憾千萬である(平和主義者)▲旭町一丁目某官吏の奧さんはいつも外出せないのに近頃頻りに活動寫眞見物ばかりに行かれます聞けばご主人公は田舍に出張だと云ふ少し堪へられないご一六本ですよ(隣の女中)

紳士の頭髮を飾る　高等煉香油　二葉ポマード
棒チツクを要せず調髮は思ふがまゝ貴婦人は申に及ばず到る處で高評
大阪久寶寺町　化粧品問屋　角倉支店

職業　美職遠近男女誰にも自宅で手輕に出來る年中無休熟練日收一圓以上要す製品永久確實に買受く　詳細郵券十錢要す
▲此際各地に特約店募集▼
東京淺草區北三筋町　三星總本店

香の素　金鈴香水(キンスズコウスイ)
一滴千金　新らしき香

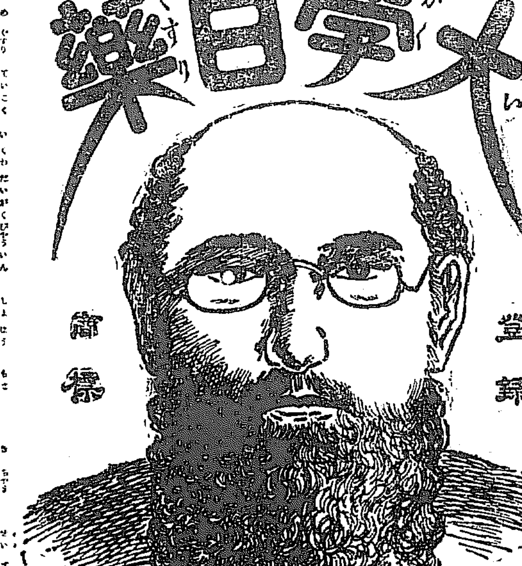
流經新藥　月經　レスノリン
閉止四五ケ月以內と雖も確實の流經作用を以て容易く應用の目的を達し得られ他藥に優越せる効果を有す
藥價一瓶二圓　說明書三錢切手添申込
大阪北區曾根崎中一丁目三六地　發行所　常盤藥院

日本一　りん病　自宅器械療法
專賣特許博士證明　生殖器障害も同器で治る
他の療法に有効の淺深外結膜內の巢窟に潜む根治至難の淋菌を殲滅し廿年の慢性をも治し尙生殖器不完全、機能障害、包皮を易く治す安全器械療法ハガキで申込に說明書無代進呈
東京京橋本材木町三　新療法研究所
大阪市北區北森町　新療法研究所
京都島ノ通リ棚下ル　新療法研究所
北海道函館區春日町　新療法研究所

新案特許　電氣治療機
▲諸病に奏効確實なり
▲虛弱者も健康者となる
定價一圓五十錢
京城黃金町三丁目　山陽電氣商會　電話一四二五番

贊化病院
京城明治町一丁目　電話二四番
內科　小兒科　入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士　古城憲治

前後にたゞ一つ
日本に始めて出來た完全な石鹸は
ウヅマキ石鹸
であると、專門家は推奬せられました……而して……實地愛用家は斯の一言を信じられ最近本品の需用範圍はます〱擴まりました……
東京横山町　天野磯五郎


大學目藥
「內外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基づきし貴重なる製劑にしてはやり目・星目・トラホーム・のぼせ目・疲目其の外眼病一切に驚くべき治効あり
▲十歲以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり
商標　登錄
大阪　合資會社　參天堂藥房　發行

LEGUMON
新滋養劑　レグモン
肺結核、慢性胃臟病、糖尿病、乳汁分泌不足、熱性病並に其恢復期其他一般病中病後の衰弱に對して最も有力なる營養增進と强壯の効を奏する代表的國產滋養劑
定價　一百瓦入　金壹圓貳拾錢　二百瓦入　金貳圓貳拾錢　四百五十瓦入　金四圓五拾錢
說明書無代進呈
大阪市東區道修町　一手販賣元　武田長兵衛

日本郵船　仁川出帆
大連行、天津行
和歌丸　四月二十日
三河丸　五月十日
高砂丸　四月三十日
正午出
仁川港町　堀回漕部

阿波共同汽船　仁川出帆
大連行　關東都督府命令
共同丸　四月十七日午前入港　四月十八日午前出帆
朝鮮鐵道主要驛にて海陸連絡取扱
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店　堀口回漕部
元山代理店
京城次取店　河村運送店

間自動車著發時刻
(金泉乃城間時刻表)
綿居自動車部金泉支部

京城龍山等各地に偽物有御注意

百圓進呈
りん病　ばい毒
帝國醫科大學院
淋病主藥は治淋劑とし梅毒主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定し
百圓進呈
にせ物　東京其他各地にせドラッグあり
大阪有田ドラッグ商會
京城南大門外停車場通
京城南大門外停車場通　大阪ドラッグ
他の藥店に販賣を不許

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
仁川出帆
神戶大阪行
南部丸　四月十八日　後五時出
漢城丸　四月廿八日　後五時出
群山、神戶大阪行
南都丸　四月　日　後五時出
大連出帆
上海、基隆、打狗行
湖北丸　五月十三日　前六時出
基隆丸　五月十八日　後四時出
安平丸　四月廿八日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
宮島丸　四月廿二日　後九時
西湖津、新浦、城津、淸津行
內地各港出帆主要航路
南米行　毎月一回
北米行　毎月二回
濠洲行　毎月二回
孟買行　毎月一回
南洋行　毎月一回

朝鮮郵船
仁川出帆
仁川木浦行
晉州丸　月　日
金海丸　月　日
濟州行
海州丸　月　日
全南丸　毎日　仁川發
三十一日一休航
釜山出帆
濟州島行
慶興丸
木浦出帆
元山より北鮮各地經由雄基行
京城丸　月　日
咸鏡丸　月　日
元山發

山縣五十雄　村上唯吉共著　副の道しるべ　定價十五錢

御注意
大阪商船株式會社仁川支店